令和７年第２回那須烏山市議会３月定例会（第４日）

令和７年３月４日（火）

開議　午前１０時００分

散会　午後　４時５４分

◎出席議員（１５名）

１番	髙　木　洋　一	２番	福　田　長　弘
３番	荒　井　浩　二	４番	堀　江　清　一
５番	興　野　一　美	６番	青　木　敏　久
７番	矢　板　清　枝	８番	滝　口　貴　史
９番	小　堀　道　和	１０番	相　馬　正　典
１１番	田　島　信　二	１２番	渋　井　由　放
１４番	中　山　五　男	１５番	髙　田　悦　男
１６番	平　塚　英　教		

◎欠席議員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	川　俣　純　子
副市長	熊　倉　精　介
教育長	内　藤　雅　伸
会計管理者兼会計課長	髙　田　　勝
総合政策課長	小原沢　一　幸
まちづくり課長	大　鐘　智　夫
総務課長	佐　藤　博　樹
税務課長	川　俣　謙　一
市民課長	大　谷　啓　夫
福祉事務所長兼健康福祉課長	岡　　誠
こども課長	水　上　和　明
農政課長	深　澤　宏　志
商工観光課長	星　　貴　浩
都市建設課長	佐　藤　光　明
上下水道課長	石　嶋　賢　一

学校教育課長	齋　藤　浩　文
生涯学習課長	黒　尾　明　美

◎事務局職員出席者

事務局長	菊　地　唯　一
書　　記	渡　辺　睦　美
書　　記	村　上　和　史

○議事日程

日程　第　１　議案第１号～第８号　令和７年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計予算について　※質疑～委員会付託

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

［午前１０時００分開議］

○議長（青木敏久）　おはようございます。

傍聴席の皆様方には、お忙しい中、議場に足をお運びいただきありがとうございます。

ただいま出席している議員は１５名です。

定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第１　議案第１号～第８号　令和７年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計予算について　※質疑～委員会付託

○議長（青木敏久）　日程第１　議案第１号から議案第８号までの令和７年度那須烏山市一般会計予算、令和７年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和７年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和７年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和７年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和７年度那須烏山市境財産区特別会計予算、令和７年度那須烏山市水道事業会計予算、令和７年度那須烏山市下水道事業会計予算、以上の令和７年度当初予算８議案を一括して議題といたします。

本件については、去る２月２５日の本会議において提案理由の説明が終了しております。

直ちに質疑に入りますが、所管の委員会に関する事項は、委員会審査において質疑されるようお願いいたします。

また、議会運営に関する申合せにより、質疑の持ち時間を答弁を含めて３０分以内としております。３０分を超えた場合、終了を求めますので、御了解願います。

質疑、答弁は、簡潔明瞭にされるよう、この際申し添えます。

それでは、これより質疑に入ります。

１番髙木洋一議員。

○１番（髙木洋一）　皆様、おはようございます。議席番号１番、髙木洋一でございます。

通告に基づきまして、質問させていただきます。

概要版の４ページ、なすからこども園運営費、運営及び給食費の助成１億９２１万５，０００円について詳細をお伺いいたします。

次に、同じく概要版の４ページ、学校給食センター運営費、給食費の助成３，１５２万６，０００円について詳細をお伺いいたします。

同じく６ページ、学業指導向上等推進事業費、スーパーティーチャー育成事業に代わる若手職員の学習指導全般のスキルアップを図る研修費３０万５，０００円について詳細をお伺いし

ます。

同じく６ページ、中学生海外派遣事業費、事業費９６０万円について詳細をお伺いします。

同じく６ページ、中学校管理費、校内教育支援センターの設置４０３万円について詳細をお伺いします。

同じく６ページ、各学校教育振興費、体育館用のスポットクーラーや大型扇風機の購入１９３万3,０００円について詳細をお伺いします。

続きまして、予算書１１６ページ、新規就農者育成総合対策事業費補助金３００万円について、令和６年度より１５０万円減の理由についてお伺いいたします。

概要版１１ページ、都市計画総務費、都市計画の見直し等として新規の３業務、都市計画の変更業務に１７６万円、基本構想の検討業務２，５００万円、烏山駅周辺の用地調査等業務２，４００万円について、それぞれ詳細をお伺いいたします。

概要版１１ページ、道路保全費、道路照明ＬＥＤ改修７，７００万円について詳細をお伺いいたします。

以上、９項目です。よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　　水上こども課長。

○こども課長（水上和明）　　それでは、私のほうから、概要版の４ページ、なすからこども園の運営費について事業内容を御説明いたします。

これは、なすからこども園の運営全般に係る経費となりまして、令和７年度新規に計上させていただいたものになります。主なものは、会計年度任用職員の報酬、それにかかる期末勤勉手当、社会保険料、共済組合費等で、それらが約７割を占めてございます。そのほか、給食用の賄い食材費や燃料費、光熱水費、また施設管理のための委託料などになります。また、給食費、いわゆる副食費の助成につきましては、昨年度に引き続き２，０００円の一部助成を実施いたします。

なすからこども園は、４月から正式に開園となります。保護者、地域、保育者が一体となりまして、園児のために地域や関係機関と連携を図りながら、全力で子育て家庭を支援してまいる所存でございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　私のほうからは、５項目について回答いたします。

学校給食センターの運営費、給食費の助成につきましては、学校給食費の保護者負担軽減交付金になります。こちらにつきましては、物価高騰に伴う保護者の経済的負担を軽減するものでありまして、令和７年度につきましても、引き続き支援を行い、月額２，０００円を補助す

るものであります。対象人数は１，４３３名を予定しております。

続きまして、学業指導向上等推進事業費について詳細をお答えいたします。

学業指導向上等推進事業費につきましては、以前はスーパーティーチャー事業を実施しておりましたが、スーパーティーチャー事業につきましては、平成２８年から見直しを行いながら実施いたしまして、７年が経過いたしました。その間、８１名の教職員が、福井市等に視察研修を行いまして、一定の効果があったと思っております。そのため、スーパーティーチャー事業の視察研修を廃止いたしまして、現在課題となっております１０年未満の教員を対象に、学業指導の向上、改善を図る事業研究、おおむね年４回から５回程度、それから、まだ正式には決まってないんですが、県内等の先進地を視察を行うというものであります。３０万５，０００円につきましては、視察バスの業務委託料となっております。

なお、指導につきましては、学校教育課の指導主事のほう、先生方が指導していくというようなことで対応することにいたしております。

続きまして、中学生の海外派遣事業についてお答えいたします。

中学生の海外派遣事業につきましては、ホームステイや学習体験を通し、英語コミュニケーション能力の向上、国際感覚を養い、多様な見方や考え方を育む人材を育成するものとして、今年度も実施するものであります。派遣先につきましては、令和６年度同様、オーストラリア派遣を予定しております。

なお、研修期間の時期、それから日程の見直し、研修内容、そして、学習体験の充実をもう少し図ったほうがいいということで、そちらのほうを予定しております。また、事後研修としまして、市民への報告会、それから、任意ではありますが、国際交流協会の事業等への参加などを検討しております。１人当たりの金額は８０万円、人数につきましては、随行を含めまして１２名、生徒が１０名、引率２名を予定しております。

続きまして、中学校管理費、校内教育支援センターの設置について説明いたします。

校内教育支援センター設置の経費、４０３万円につきましては、支援員１名の経費となっております。こちらにつきましては、国のＣＯＣＯＬＯプランにおいて、誰１人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策の一環といたしまして、校内教育支援センターの設置促進が明記されております。そちらに基づきまして、本市といたしましても取り組むものであります。

なお、設置につきましては、中学校２校に設置を予定しております。支援のほうは１名を併用でということで、最初の段階ですので１名ということで対応をすることにしております。

そちらの校内教育支援センターの効果としましては、学校内にいわゆる学習拠点を設置すると。提供することで、不登校から学校復帰する段階にある児童生徒や、不登校の兆候が見られる生徒が早期段階において学校内で安心して学習できるという体制を整えるために設置するも

のであります。

続きまして、各学校教育振興費、体育館用のスポットクーラー、大型扇風機の購入について御説明します。

スポットクーラーにつきましては、小学校が１４台、中学校が３台、大型扇風機につきましては、小学校が１３台、中学校が４台、スポットクーラー大型扇風機それぞれ１７台ずつを予定しております。

以上です。

○議長（青木敏久）　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　私のほうから、予算書１１６ページの新規就農者育成総合対策事業費の補助金について御説明を申し上げます。

補助金につきましては、国庫補助事業でありまして、新規就農者の意欲の喚起、また、就農後の安定経営のための経営開始資金となっております。昨年度、３名の方がこの補助金を活用してございます。お一人が梨とリンゴ農家、水稲とナスを栽培する農家が１名、栗の栽培農家が１名ということで、昨年度は、年額１５０万円、これは最長３年間交付になりますけども、３名ということで４５０万円の交付を受けたところでございます。本年度、１５０万円減額となった理由でございますけども、事業年度の関係上、うち２名が、上半期までの補助ということで、７５万円の方がお二人いますので、その方の分を引いて、昨年度からは１５０万円の減額となったところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　髙木議員から御質問をいただきました予算概要１１ページ、暮らしやすい都市再生戦略の都市計画総務費についてお答えいたします。

都市計画の見直しとして、新規に用途地域の見直し等の計画変更業務に１７６万円、烏山駅を中心とした回遊性の高い市街地再生に向けた基本構想の検討業務に２，５００万円、烏山駅周辺の用地調査等業務委託に２，４００万円を計上しております。そちらについてお答えをいたします。

まず、用途地域の見直し等の都市計画の変更業務につきましては、本市の旧烏山市街地の都市計画は、昭和２４年に決定されて以来、大きな変更を行わずに現在に至っております。時代の変化が著しい現在において、都市計画策定を進めております立地適正化計画に基づく都市整備を進めるに当たり、現在の現状を踏まえ、用途地域や都市計画道路の見直しの検討を行うための業務でございます。

次に、烏山駅を中心とした、回遊性の高い市街地再生に向けた基本構想の検討業務につきま

しては、先ほど申し上げました都市計画の変更業務と同様に、現在策定を進めております立地適正化計画に基づき、整備を進める上で、ＪＲ烏山駅を中心とした、にぎわいの創出と、歩行者等の安全安心の確保に向けた回遊性の高い道路整備の在り方を整理し、ＪＲ烏山駅を中心とした市街地の活性化を推進し、今後のまちづくりの方向性を導き出すための業務であります。

次に、ＪＲ烏山駅周辺の用地調査業務につきましては、ＪＲ烏山駅を中心とする市街地の活性化、駅周辺の都市基盤の整備を検討するための図面作成や用地に関する現状を把握するために業務を行うものでございます。

次に、同じく予算概要１１ページ、環境に配慮した地域づくり戦略の道路保全費の道路照明、ＬＥＤ改修７，７００万円についてお答えいたします。

市道に設置してあります道路照明は全部で３２２灯ございます。そのうち、球切れや不具合等で既にＬＥＤ照明に切り替えたものが２０灯あり、残りの３０２灯の道路照明について、ＬＥＤ化を令和７年度、８年度の２か年で取り組んでまいります。ＬＥＤ化することで、電気料金の削減と二酸化炭素排出削減、脱炭素を推進してまいります。市内の全ての道路照明がＬＥＤ化された際の削減の効果としては、電気料金が約７割、二酸化炭素排出量が約７割削減できると見込んでおります。令和７年度においては、全体の６割相当の１８０灯ほどを改修整備する予定でございます。残りを令和８年度実施する予定でございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　　１番髙木洋一議員。

○１番（髙木洋一）　　回答ありがとうございました。再質問させていただきます。

まず最初の、なすからこども園運営費なんですけれども、こちらはつくし幼稚園とかにこにこ保育園の運営費がそのまま移行されたような形ということで認識しました。特に新しい業務、もしございましたらお伺いしたいんですけども、例えばスクールバスとかは廃止になったのかと思いまして、その部分は廃止ということだと思いますが、もし何かありましたらお願いします。

学校給食センター運営費につきましては、承知いたしました。さきの一般質問でも出ましたので、承知しました。

次の学業指導向上推進事業費につきましては、回答いただきまして、今回の対象となる先生の人数について、何名なのか分かりましたらお伺いいたします。

あと、次の中学生海外派遣事業につきましては、オーストラリア方面ということで、今年度と同じなのかと思うんですけれども、今まで姉妹都市であるメノモニー市への派遣についてありましたけれども、現地コーディネーターが辞めたということなんですけれども、こちらについてどのような状況か分かりましたらお伺いいたします。

次の中学校管理費につきましては、承知いたしました。小学校への設置が、もし考えがありましたら、そちら、併せてお伺いいたします。

続きまして、各学校教育振興費につきましても、こちら、スポットクーラーや大型扇風機ということで、一般質問でも回答いただいておりましたので、承知いたしました。

続きまして、新規就農者育成総合対策事業補助金につきまして、承知いたしました。

次の都市計画総務費でございます。主に烏山駅周辺の整備事業ということなんですけれども、こちらは烏山駅だけということなんですか。今後、滝駅とか大金駅とかの方向は考えているのかと、あと、こちらは施設整備事業費とか、今庁舎整備事業が進められておりますけれども、こちらのほうとは関係があるのか、お伺いいたします。

続きまして、道路保全費につきましては、承知いたしましたので、こちらは結構です。

以上、お願いいたします。

○議長（青木敏久）　　水上こども課長。

○こども課長（水上和明）　　それでは、お答えいたします。

議員がおっしゃるとおり、つくし幼稚園とにこにこ保育園の統合ということなので、運営費のほうも特に新しいものというのはありませんけれども、議員がおっしゃるとおり、通園バス等は廃止ということにさせていただきました。それと、統合したことによりまして、予算のほうも、私の試算ですけど、大体２，０００万円程度は統合で削除できたものと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　学業指導の向上推進等事業費、人数等は正確に把握してないんですが、新採の方でおおむね７名程度、それからそのほかいますので、おおむね１５名程度ぐらいかと思っております。正確な数字じゃなくて申し訳ありません。

あと、メノモニー市のほうは、今のところ連絡のほうが取れてない状況となっております。

あと、校内教育支援センターの小学校の設置につきましては、将来的にはやはり設置も考えていかなければならないと思っております。今回、中学校というのは、不登校の児童数を考慮いたしまして、中学生を優先的に、また、不登校の理由というのも、いじめとかそういった問題よりも、どちらかというと学業不振とか無気力とかというのが比較的増えておりますので、中学校を優先的に実施していくとしております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　まず、烏山駅限定かということでございますが、現在、烏山土木事務所のほうで、駅前の烏山停車場線という路線、信号から駅までの路線でございますが、

電柱の無電柱化という事業を進めていただいております。この事業も入るということで、ちょうど烏山駅前の活性化について、県とともに取り組んでいくということでございまして、まずは中心市街地烏山駅について取り組んでまいりたいと考えております。事業実施に当たりましては、まず、立地適正化計画というものがないと、ハード事業のほうが入れられないということでございますので、まずはこの立地適正化計画を策定するために、今回の業務を実施するものでございますので、御理解をお願いいたします。

○議長（青木敏久）　　１番髙木洋一議員。

○１番（髙木洋一）　　答弁ありがとうございます。おおむね理解いたしました。

先ほどの都市計画総務費についてなんですけれども、こちらの立地適正化計画をまずやらなきゃいけないということなんですけれども、この再質問した庁舎整備のほうには関係はあるんですか、お伺いいたします。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　庁舎整備とは関係ございません。駅前を何とか活性化させていこうということで、今回の都市計画の変更から立地適正化計画を策定するために実施するものでございます。

○議長（青木敏久）　　１番髙木洋一議員。

○１番（髙木洋一）　　以上で質問を終わります。

○議長（青木敏久）　　ほかにございませんか。

２番福田長弘議員。

○２番（福田長弘）　　それでは、通告書に基づきまして、質問のほうをさせていただきたいと思います。

予算書と概要版のほうから質問させていただきます。

まず、予算書４７ページ、防犯施設維持管理費でございます。防犯施設の維持管理をどのように行っているのかの取組内容についてお伺いをいたします。

続きまして、予算書４９ページ、還付金事務費でございます。これは、どのような還付金に対応されているのか、また、事務期間等はどれくらいになるのかをお伺いいたします。

続きまして、通告書には、予算書８７ページの中学生海外派遣事業費、また、同じく８７ページ、学業指導向上等推進事業費がございます。こちらのほうは、今、前の髙木議員のほうからも質問がありまして、おおむね理解をさせていただきました。海外派遣事業、内容についてもこれからもしっかり取り組むということがありますので、取り組んだことが決まりましたら、また後でお答えいただければと思います。

続きまして、この２つ、学業指導のほうは、金額を伺ったんですけども、具体的な内容を先

ほどお示しいただきましたので、理解いたしました。

続きまして、予算書９３ページ、生涯学習施設整備計画策定事業費でございます。こちら、２年間の期間ありますけれども、今年度はどのような取組を行うのかをお伺いいたします。

続きまして、予算書９３ページ、文化財調査費でございます。調査の内容、件数など、こちらも今年度の取組についてお伺いをいたします。

続きまして、概要版でございます。学校給食センター運営費、先ほど髙木議員のほうからもありましたけども、その中でも、障害者就労施設からのパン購入３万１，０００円とありますが、これは何食分ぐらいになるのかお伺いをいたします。

続きまして、概要版１０ページ、在宅高齢者支援事業費でございます。緊急通報装置の設置とございますけれども、どのくらいの数を設置する予定なのかをお伺いいたします。

続きまして、概要版２１ページ、各基金残高の項目でございます。いろいろ基金ありますけれども、熊田診療所の基金残高でございます。予定としては、令和７年度末で９，０００円と見込んでおります。どのように基金を運営していくのか、今後の見込みをお伺いいたします。

以上です。よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　　まず、予算書４７ページ、防犯施設維持管理費でございます。

これにつきましては、防犯灯の管理ということになってございます。市が管理する通学路の防犯灯も電気代が約１５７基分、残りの２，８５８基は自治会管理の防犯灯になります。防犯灯は合計で、３月３日現在では３，０１６基設置されております。全てＬＥＤ化されておりまして、自治会管理の防犯灯につきましては、自治会から球切れとかそういったことがあれば、申出を受けて、市のほうで速やかに取り替えるというようなものでございます。約６０基ほどの防犯灯の修繕料を見込んでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　川俣税務課長。

○税務課長（川俣謙一）　　予算書４９ページ、還付金事務費、どのような還付金に対応しているか、事務期間はどのくらいかについてお答えいたします。

まず、どのような還付金に対応しているかについてですが、一般会計の市税の過年度分において、何らかの理由により税額が減少することにより、既に納税いただいた市税を還付する必要がある場合の予算となっておりまして、主に個人市民税、法人市民税の還付が大半を占めております。具体的に申し上げますと、個人市民税につきましては、納税者が過年度に遡って還付申告をした場合と、上場株式等の配当や譲渡した場合に住民税が特別徴収され所得割から控除することができますが、控除し切れなかった場合は均等割額に充当し、それでも充当し切れ

なかった金額がある場合、還付することになります。法人市民税につきましては、予定納税された金額が、確定申告等により計算された税額を上回る場合、上回った金額を還付することになります。

次に、事務期間はどのくらいかについてですが、年度の期間であります４月１日から翌年の３月３１日までの間に、過年度分で申告等により税額が減少した場合となります。

以上です。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　私のほうから、予算書の９３ページ、生涯学習施設整備計画策定事業費、こちら、今年度の取組についてという御質問にお答えします。

令和７年度は、建物の劣化度や施設利用状況等を踏まえて、総合的な視点から、長寿命化の方針を検討して、施設の維持管理、修繕等の長期的コストをシミュレーションし、これらをまとめて個別施設計画として完成させる予定になります。

続きまして、文化財調査費、調査内容、件数などという御質問になっております。こちらにつきましては、史跡烏山城跡と史跡長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡の調査研究を行うための委員会開催や業務委託などの費用になっております。今年度は、烏山城跡の三の丸の確認調査、史跡長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡の確認調査、小白井地区の東山道跡の調査、確認を行う予定となっております。

今後の取組についてというところにつきましては、こちら、烏山城跡につきましては、保存活用計画を策定しましたので、策定後の次の基本構想、基本整備計画策定に必要な調査研究を進めるものになります。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　それでは、障害者就労施設からのパンの購入について御説明いたします。

こちらにつきましては、１回で中学３年生を対象に検討しております。人数につきましては、先生方を含めまして２２０人という形で予算のほうは計上させていただいております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡　誠）　　概要版１０ページ、在宅高齢者支援事業費についてでございますが、令和７年２月末現在で１７名の方が利用しておりますが、３月までの申請を考慮しますと、今年度は２０名を見込んでいるところでございます。さらに、令和７年度新規利用者として４名を見込み、２４名分を計上しております。

○議長（青木敏久）　　大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫）　　私のほうから概要版２１ページ、各基金残高のうちの熊田診療所の基金残高について御説明いたします。

熊田診療所特別会計につきましては、令和６年度から那須南病院から医師を派遣していただきまして、運営方法を変更したことに伴いまして、老健施設等の嘱託医の取りやめ等により診療収入が減少いたしました。また、施設整備設備の新規購入、それから修繕等により経費が増大しておりまして、基金の取崩しを行ったため、基金残高がかなり減少しております。

今後の見込みにつきましては、設備についてはほぼそろいましたので、経費のほうは減少すると思われます。また、来所する患者のほうは増えておりまして、診療内容の周知が足りないとの指摘もございますので、市のホームページ、それから広報などにより周知のほうを図りまして、診療収入を増やすための手法を検討いたしまして、基金を増額できるようにしたいと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　２番福田長弘議員。

○２番（福田長弘）　　ありがとうございました。ほぼ理解をさせていただきました。

防犯施設維持管理費のほうについては、基本的に防犯灯等維持管理ということで理解をさせていただきました。

続きまして、還付金事業費なんですけども、こちらは毎年同じぐらいの金額を計上しているのか、改めて再質問させていただきたいと思います。

生涯学習施設整備計画策定事業費、今年度完成ということになります。この完成の後、また令和８年度から本格的に事業がスタートするのかどうか、そういうことが決まっているのであれば教えていただければと思います。

文化財の調査費については、烏山城跡、長者ヶ平官衙遺跡が中心になるということでございますので、理解をしました。

在宅高齢者支援事業費、２４名分計上させているということでございます。上手に使っていただければと思いますので、よろしくお願いします。

基金残高でございます。熊田診療所、今課長の説明、ちょっと見通しが少ないけども、明るい兆しがあると。ぜひ、基金をしっかり潤沢にできるように努力していただければと思います。

還付金事務費と生涯学習整備改革の事業費について、お答えいただければと思います。

○議長（青木敏久）　　川俣税務課長。

○税務課長（川俣謙一）　　還付金事務費の予算額等につきましては、おおむね８００万円から７００万円ぐらいの間で年々推移しておりまして、令和６年度については、当初予算としま

しては８１５万円でございましたが、令和７年度につきましては、１００万円減の７１５万円を見ております。ただ、これについては、事案が発生すれば予算がなくても執行しないといけないので、何らかの形で予算獲得することになります。

以上です。

○議長（青木敏久）　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　御質問の令和８年度の内容が決まっているのかということについてですが、まだ現在は決まっておりません。今年度の策定事業の中で進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　２番福田長弘議員。

○２番（福田長弘）　以上で質問を終わりにします。

○議長（青木敏久）　ほかにございませんか。

３番荒井浩二議員。

○３番（荒井浩二）　私のほうから、１３件、質問させていただきます。

通告書の年度が令和６年度となっておりますが、令和７年度の間違いでございます。よろしくお願いいたします。

それでは、概要版から質問のほうさせていただきます。

先ほどもありましたが、都市計画総務費、こちらのほう、概要のほうは説明していただきましたが、具体的な対象エリアについても、地図資料等を用いて説明をお願いいたします。

次に、概要版３ページから、清水川せせらぎ公園整備費、かねてから申し上げていますけれども、全世代型の公園整備を進めるためには、栃木県でも縁の深いバスケットボールのスリー・オン・スリーのコートのようなものが必要だと考えております。その計画について、若者世代に向けた当公園の整備方針と併せて伺います。また、次年度以降、当公園地内Ｃゾーンの河川敷地占有許可を申請予定とのことですけれども、許可後におけるその敷地利用に関し、その利用の制約やスポーツ設備等の設置の可否について伺います。

次に、概要版９ページ、シティプロモーション事業費、事業概要と新規事業であるブランディング推進のための職員研修等について伺います。

また、同じく９ページ、学生応援事業費、昨年も同様の質問を行いましたが、現状の制度では、高校授業料無償化のように、同世代でありながら就労し納税をして頑張っている者に対して不公平ではないかと私は感じます。今後、対象者が減少傾向にあるのは明らかでありますし、既に就労等により市外で活躍する本市出身者を応援し、地元への愛郷心を醸成し、遠方からのふるさと納税による支援や、将来的なＵターンを見込んで２０歳程度の学生以外にも拡充して

はいかがでしょうか、伺います。

次に、概要版９ページ、空家対策事業費、事業概要と新規の空家等実態調査をどのように行っていくのか伺います。

また、同じく１０ページ、防災無線管理費及び防災情報通信管理費と、さらに防災行政情報通信整備費について、事業概要と新規のＪアラートの改修について伺います。

次に、概要版１１ページから財産管理費、次年度電気自動車を購入予定とのことですが、将来的な増車の可能性に既に具体的な計画があるのか伺います。また、新規購入予定車両用も含めたＥＶ充電スタンドの市内新規整備予定と、現在烏山南公民館に整備されているＥＶ充電スタンドの更新の有無についても伺います。

次に、概要版１２ページ、なすからＳＮＳ管理運営費、こちらもかねてより要望させていただいて実現となった事業なんですけれども、新規にＬＩＮＥ拡張ツールを活用した電子申請や電子決済等の導入と、予算書の説明にはあります。どのような場面での利用を想定したものであるのか、お伺いいたします。また、以前から申し上げていたような市民からの情報提供、通報機能のようなものは含まれているのか、その他、追加予定の機能についても併せて伺います。

次に、予算書から予算書３１ページ、企業版ふるさと応援寄附金について、産官学による里地・里山再生プロジェクトは今年度で事業終了となりますが、私のさきの一般質問において、今後、事業の成果を有効に活用し、産官学で連携を図りながら本市に還元できる取組を積極的に支援していくと市のほうではおっしゃっておりました。予算化されている具体的な事業が来年度予算には見当たりません。企業や大学、そして事業の舞台となった大木須地区からのその後への期待は大変大きいようですけれども、来年度の予定について伺います。

次に、同じく予算書３１ページ、財政調整基金繰入金について、財政調整基金繰入金６億４，１００万円の用途とその理由について伺います。

次に、予算書４７ページ、防犯対策費・防犯施設維持管理費、こちら、防犯灯の維持管理に関しても、昨年、私のほうで一般質問及び当初予算総括質疑で質問させていただきました。電気料金の自治体負担を要望させていただいたものでありますが、その後の地元の自治会からの意見や検討の進捗について伺います。

予算書７１ページ、八溝そばブランド向上支援事業費について、事業概要とそば祭り等の計画について伺います。

最後に、予算書のほうから、水道事業会計予算と下水道事業会計予算のほうからお伺いいたします。頃来、上下水道敷設管の老朽化による破損や漏水等が問題となっております。事故報道なども耳に新しく、それらを受けて、本市において次年度以降の調査改修計画に変更はあるのか。また、当面の調査改修への予算は十分に確保されているのか伺います。関連して、それ

ぞれ現状と来年度執行による見込みの管路経年劣化率と更新率、耐震適合率も併せて伺います。

以上です。お願いいたします。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　それでは、概要の３ページ、都市計画総務費、烏山駅前に係ります都市計画総務費でございますが、こちらにつきましては、先ほど髙木議員にお答えしましたとおり、かなり古い、昭和２４年に決定された都市計画でございますので、それを見直すために、今回予算を計上したものでございまして、具体的な対象エリアにつきましては、今回の委託の中で詰めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、清水川せせらぎ公園整備費、以前から、荒井議員から、バスケットボールのコートということで御提案をいただいておりますが、今回の清水川のＢゾーンの改修工事におきましては、申し訳ございません、そちらは含まれておりませんので、お願いをしたいと思います。予算としましては、先日の議員全員協議会でも御説明しましたとおり、日常生活にちょうどいい街なか公園と位置づけまして、癒やしを感じられるやすらぎの拠点として、子供から高齢者まで誰もが使いやすい、そして誰もが気軽にくつろげる公園を整備方針として、令和７年度、令和８年度の継続費として整備をいたします。工事の概要につきましては、流路の撤去、Ｂゾーンの上の駐車場にありますトイレの改修、造成工事として切土と盛土を実施します。それから東屋の設置、造成工事の後の芝張りを実施し、駐車場の整備を実施します。

次に、予算概要１０ページ、地域ぐるみによる安全安心戦略の空家対策事業費１，４６９万５，０００円についてお答えいたします。

空き家等の実態調査に１，２１０万円の概要について、令和７年度の新規事業として、市内に存在する空き家の実態を調査し、建物の劣化状況等の現状を確認し、今後の空き家の適正管理や、空き家バンクの利活用の促進につなげていくために業務を委託します。業務委託により実施します。ほかに管理が不完全な老朽化した空き家の解体補助金を５件分、２５０万円計上しております。ほかに、空き家等対策協議会の際の委員報酬を８万円、管理不良空き家所有者への通知文発送等の郵送料として１万５，０００円を計上いたしました。合わせまして１，４６９万円でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　　大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫）　　まちづくり課関係、２点御質問をいただいております。

まず１点目、概要書９ページです。シティプロモーション事業費ですけれども、現在、市内で活躍するまちづくり団体の若手メンバー並びに商工会、観光協会及び市役所職員の市役所若手職員によるワークショップを開催しまして、ブランドメッセージの策定やブランディング手法について意見などをまとめながら、市のブランディング戦略を作成中でございます。令和

７年度につきましては、先ほど申し上げましたブランドメッセージのロゴデザインの製作、ロゴデザインの商標登録出願等を発注したいと考えております。また、オール那須烏山の体制でシティプロモーションを展開したいと考えておりまして、市内企業、ＮＰＯ、まちづくり団体などを対象としたシティプロモーション研修の実施、市役所全体、市役所全庁体制でシティプロモーションを推進するため、市職員を対象とした研修も予定をしております。

２つ目です。同じく９ページの学生応援事業費についてですけれども、こちら、市内の企業から企業版ふるさと納税で寄附をいただいた財源を活用しまして、本市出身で市外で活躍する学生に市の特産品を贈り、学生生活を支援するとともに、企業紹介、移住支援などの地元情報を提供することで、学生のＵターンによる地元就職の促進、並びにふるさとの魅力の再認識及びふるさとの愛する気持ちの醸成を図ることにより、令和２年度より実施している事業でございます。令和７年度も市出身の学生を対象に、ふるさと特産品５，０００円相当の詰め合わせを２００人の学生にお届けしたいと考えております。荒井議員の御提案につきましては、貴重な御意見として承りたいと思っております。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　　それでは、概要書１０ページ、防災無線管理費、防災情報通信管理費、防災行政情報通信整備費について、概要とＪアラートの改修についてお答えします。

まず、防災行政無線管理費、防災無線管理費は、防災行政無線の施設の管理業務委託になります。

次に、防災行政情報通信管理費につきましては、大きく３つございます。

１つはＪアラートのシステム、もう一つは防災インフォ那須烏山のシステム、もう一つは栃木県の防災行政ネットワークのシステム、大きく３つがございます。そのうち、栃木県の防災行政ネットワークにつきましては、今年度中に改修をする、全て新しいものに改修をする予定でございます。令和８年度からの防災ネットワークの稼働に向けて７年度に取り組む予定で、それが１，２４４万１，０００円ほどの改修委託料になってございます。それと併せて、栃木県の防災行政ネットワークシステムの受信のアンテナに、Ｊアラートの受信のアンテナも共通で今しているんですが、県のネットワークが改修することに伴って、それを分離する必要がございます。今までは栃木県のアンテナ、受信アンテナでＪアラートの受信もしていたんですが、それが使えなくなるということで、新たにＪアラートの受信のアンテナを改めてつくる必要が生じました。その結果、防災行政情報通信整備費として、Ｊアラートの受信アンテナの設置工事に４６２万円の計上をさせていただいたところでございます。

それから、概要書１１ページ、財産管理費でございますが、電気自動車の購入予定でござい

ますが、現在は電気自動車１台ございますが、これを令和９年度までに、烏山庁舎、南那須庁舎、保健福祉センターに１台ずつ配備する計画を立てており、令和７年度に車両更新に合わせて２台のＥＶ車を導入する予定でございます。したがいまして、それで各庁舎に１台ずつ配付されることになります。令和９、１０年度以降は、次期総合計画の中で検討してまいりたいと思っております。

続きまして、ＥＶ充電スタンドの市内新規設置予定等でございますが、現在は、４か所市内にございます。１つは烏山南公民館、あと３つは日産自動車、興野です。それと、栃木トヨタ、カローラ栃木、その３か所、合計で４か所ございますが、スタンドの設置は今のところ予定してございません。なお、烏山南公民館のＥＶ充電スタンドは、昨年１２月に改修をしておりますので、報告いたします。

続きまして、予算書４７ページです。防犯施設維持管理費の中で、昨年、質問いただいた件に関してその後の状況でございますが、今年度につきましては、防犯灯の自治体負担について、最新の県内の市町の状況把握を現在行っているところでございます。併せて、自治会連合会の事業で、各地区との意見交換会等を踏まえさせていただきまして、その中でもそのようなお声があるかどうか聞いたところでございますが、改まって防犯灯の費用負担についてというところはなかったです。どちらかというと、自治会の存続、自治会の加入世帯の在り方、そういったところが課題として挙がっておりまして、防犯灯の費用負担については、その中ではあまり出ておりませんでしたが、今後は、他市の状況を踏まえて改めて検討していきたいと考えているところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　　私のほうからは、概要書１２ページ、なすからＳＮＳ管理運営費につきまして御説明します。

広報活動のツールとして活用していますＬＩＮＥの公式アカウントの機能を拡張するＬＩＮＥ拡張ツールを導入するものでございます。機能としましては、登録者が希望する情報を選択して受け取ることができるセグメント配信を導入します。また、ＬＩＮＥ拡張ツールを導入することで、ＬＩＮＥを活用した電子申請や電子決済も可能となるため、併せて段階的に導入していくことを予定しております。

御質問の電子申請や電子決済の具体的なものとしましては、税証明や住民票など、各種証明書の申請と、手数料の決済での利用を想定しております。

市民からの情報提供、通報機能はあるかというところなんですけれども、こちらについては、今回含まれていません。

そのほかの機能の追加については、各種講座や相談の申込みや予約ができる申込み予約機能、お子さんの月齢などに併せて予防接種や検診日のお知らせができるフォロー配信なども予定しております。

以上になります。

次に、予算書３１ページの財政調整基金繰入金について御説明します。

こちらは、財政調整基金は、地方財政法に基づきまして、翌年度以降における財政の健全な運営に資するために積み立てる基金でございます。基金の運用については、財源の不足額に充てるための財源としているところでございます。

以上になります。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　私のほうからは、荒井議員の質問に２点お答えしたいと思います。

まず、予算書３１ページ、企業版ふるさと応援寄附金を活用した大木須の取組についてお答えしたいと思います。那須烏山市のまち・しごと・ひと創生推進計画に基づきます、産官学による里地・里山プロジェクト事業につきましては、今年度をもって終了するところでございます。この４年間の活動につきましては、特に雑草問題解決の実証実験の成果、これは、本当に貴重なデータでありまして、また、そこから生まれる知見だったりノウハウは、各自治体が抱える雑草退治の足がけになるものと捉えているところでございます。次年度につきましては、応援寄附金の歳入を見込んではございません。予算的なものも措置はしてございませんけども、まずは、大木須地区での活動を市内に普及させるための農業者の実践の掘り起こし、または、市民等への啓発活動を中心に、これまで多額の寄附をしてくれた企業、そして４年間の活動を側面から支えてくれました大学と連携を図りながら、これらの取組を広く内外に発信する方向で取組を推進したいと考えてございます。

また、予算書７１ページの八溝そばブランド力向上支援事業費でございます。こちらにつきましては、本市の特産であります八溝そばのブランド力、そして知名度アップのための事業費でございます。

事業内容につきましては、今現在、そば打ち体験を開催しておりまして、市民を対象に八溝そばの魅力を伝えているところでございます。また、八溝そばの商標登録、市のほうで持っていますけども、これの更新手数料、そして、八溝そば推進協議会の負担金を計上したものとなってございますけども、御質問の八溝そばの祭りにつきましては、昨年は、アキュム開通１０周年記念をイベントに、協賛として３店舗を烏山駅前のほうで出店して、そば祭りを開催して好評を得たところでございます。次年度につきましては、単独での開催は考えてございません。市制２０周年記念への出展などを予定はしておりますけども、開催場所における給水排

水の問題等クリアしなければならないものがありますので、そちらも考慮した上で、お祭りの開催については検討を図ってまいりたいと考えてございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一）　　私のほうから、荒井議員のほうからいただきました上下水道管の老朽化問題ということに関しまして、お答えしたいと思います。

まず、次年度以降の調査改修計画に変更はあるのかということについてでございますが、水道事業につきましては、現在、避難所へ接続されている配水管を中心に更新工事等を実施しているところでございます。老朽管の調査につきましては、今年度、衛星を活用した漏水調査を実施いたしました。その調査結果が出たところでございます。来年度につきましては、その調査結果を基に現地調査を行いまして、修繕工事等を実施してまいりたいと考えてございます。また、下水道事業につきましては、今年度腐食環境下における管渠の点検を実施したところでございます。

今後も、引き続き定期的に実施していきたいと考えております。

続きまして、当面の調査改修への予算は十分に確保されているのかというところにつきましては、水道事業につきましては、国の補助金等を活用しまして対応している状況ではございますが、経営的にはなかなか厳しいところがありまして、十分ではないものと考えているところでございます。

また、下水道事業につきましては、調査改修という点につきましては、法で定められた実施時期に予算措置を図りまして、適正に実施してまいりたいと考えております。

関連の御質問ということでいただいた件に関しまして、お答えしたいと思います。

水道管のまず現状と来年度の執行見込みということで、現状については、令和７年度、また、来年度については、令和７年度の見込みということでお答えさせていただきます。

管路の経年劣化率ということに関しましては、現状が１６．６％、来年度執行見込みが３９．４８％、更新率につきましては、現状が０．３２％、来年度執行見込みが０．３４％です。基幹管路の耐震適合率につきましては、現状が１０．６％、来年度の執行見込みが２８．５％でございます。

続きまして、下水道管の現状と来年度の執行見込みでございます。管路の経年劣化率につきましては０％、現状と来年度の見込みにつきましても０％でございます。更新率につきましても０％でございます。耐震適合率につきましては、現状、来年度執行見込み共に７８．８％となってございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　３番荒井浩二議員。

○３番（荒井浩二）　　それでは、時間も押していますので、再質問をさせていただきます。

まず、都市計画総務費のほうなんですけれども、駅前とあるんですけれども、こちら、具体的なお示しはないということなんでしょうか。

次に、清水川せせらぎ公園整備のほう、こちらはＣゾーンについてのところが回答いただけてないようなんですけれども、それと、烏山高校の、先ほどこちらでも議場コンサートありまして、我々もせんだって烏山高校の生徒との意見交換会をさせていただきました。若者が那須烏山市のどこにいたらいいのか、若者の場所づくりというものを要望としてありましたので、ぜひともどういうお考えなのかお聞かせ願えたらと思います。

あと、１０ページの防災無線管理費等のところです。Ｊアラートのアンテナの分離ということなんですけども、どちらにつくられるのか教えてください。

次に、財産管理費のほうで、ＥＶ充電スタンド市内４か所あるということなんですけど、庁内には何か所あるんでしょうか。庁内にはないんですか。先ほどの烏山南公民館にしかないということなんでしょうか。市で持っているＥＶ電気自動車は今１台あるということなんですけども、どちらで充電されているんですか。

○議長（青木敏久）　　荒井議員、申し訳ありません、時間あるので、考えてお願いします。

○３番（荒井浩二）　　あと、ＳＮＳ管理運営費のほうで、こちら、市民からの通報機能が含まれていないということなので、残念です。今後も要望していきたいと思います。

あと、企業版ふるさと応援寄附金のほうなんですけれども、こちら、いろんなところからお話聞いていると、企業側としても、ふるさとへの寄附金を続けたいという気持ちはあったようなんですが、市の熱意が足りなかった、あんまり感じなかったということで、いろいろうまくかみ合わなかったところもあるのかと思います。こちら、非常に残念です。

それと、そば祭りの件も分かりました。

あと、最後の水道事業会計予算のほう、こちら、今回の八潮市の事件を受けて、ところによっては４０％ぐらい水道料が上がるなんていうところの話もちょっと聞いたことがあります。本市のほうでそういった水道料が上がるようなおそれはあるんでしょうか、ちょっとお伺いいたします。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　まず、烏山駅前でございますが、先日、相馬議員から質問をいただいておりますように、ＪＲの廃線敷といいますか、そちらを利用して、回遊性のある道路整備ということもございますので、区域につきましては、今回の業務の中で詰めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

清水川せせらぎ公園のＣゾーンにつきましては、今回の工事はＢゾーンにおいて実施するということでございまして、Ｃゾーンにつきましては、今後の整備ということになりますので、申し訳ございませんが、よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　　Ｊアラートのアンテナにつきましては、現在では烏山庁舎につくる予定で考えてございます。また、充電スタンドですが、烏山庁舎と南那須庁舎にはもう既にあります。保健福祉センターにもう１か所をつくりたいと思っておりますので、庁内ということであると３か所になります。

以上です。

○議長（青木敏久）　　ここで暫時休憩いたします。再開を１１時２０分とします。

休憩　午前１１時０９分

再開　午前１１時２０分

○議長（青木敏久）　　休憩前に引き続き、会議を開きます。

質疑はございませんか。

４番堀江清一議員。

○４番（堀江清一）　　私、概要版のみの質問となります。

すいません、最初に通告しておりませんが、清水川せせらぎ公園に関して、概要版の３ページ、この計画をするに当たって正確な設計計画書みたいなのは、もしまだできてなければいつ頃できるのか、もしあれば、後で見せていただければと思っております。

続いて、１１ページの都市計画総務費ということで、先ほど来質問が重なっておりますが、改めて質問をさせていただきます。都市計画の変更業務については、具体的にもう一度場所を伺えればと思っています。

あと、市街地再生に向けた基本構想の検討業務、具体的に内容を、それも先ほど聞きましたが、もうちょっと分かりやすく、さらっとで結構ですので、よろしくお願いをしたいと思います。

烏山駅周辺用地調査費ですか、業務委託、土地の調査をするということでございますが、何をどう調査するのか、その辺分かればお願いしたいと思います。

同じく１１ページ、先ほど道路保全費ということで、街灯のＬＥＤ化ということだったのかとお伺いしましたが、道路については、修繕箇所というのはあるのか、お伺いします。あるとすれば、どのようなところを具体的に考えているかお伺いします。

１２ページのＳＮＳ管理運営費、これ、荒井議員に説明されたとおりなので、これは割愛さ

せていただきます。

１５ページ、ふれあいの道づくり事業費、現在、何件申請されていて、残り何件ぐらいあるのか。残り何件ある、ちょっとおかしいですね。今現在、何件ぐらいの予定されているものがあるのかお伺いします。

それと、２１ページです。庁舎整備基金２３８万３，０００円となっておりますが、妥当な金額なのか。財政調整基金には６億円を積むということだったですか、先ほど。繰入れでしたっけ。これは、今後庁舎整備するに当たって莫大な費用がかかると見込んでおりますので、それが妥当な金額か。

荒井議員の要望に応え、通告しておりませんが、先ほど水道料金に関しての話です。今後、料金が上がるかどうかということを、それもお伺いしたいと思います。

以上です。

○議長（青木敏久）　その前に、通告外の質疑に関しましては、答弁できる範囲内でお願いいたします。２点ですね。

佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　それでは、概要版の３ページ、清水川せせらぎ公園の設計業務でございますが、今月で完成しますので、お見せできますので、都市建設課までお願いをしたいと思います。

続きまして、概要版の１１ページ、都市計画総務費の都市計画の変更業務、場所でございますが、こちらにつきまして、検討をするのが今回の業務でございますので、よろしくお願いいたします。

次に、市街地再生に向けた基本構想の検討業務でございますが、こちらにつきましても、検討するための材料をということで、今回業務委託をするものでございますので、よろしくお願いいたします。

それから、烏山駅周辺の用地調査業務の具体的な内容でございますが、こちらにつきましては、まず、用地につきまして明らかにするということで、それぞれの方に立会いをいただきまして、用地測量を実施しますというものでございます。

続きまして、予算概要１１ページ、環境に配慮した地域づくり戦略の道路保全費の道路排水修繕、舗装修繕、区画線修繕を実施する箇所についてお答えをいたします。

道路排水修繕は、七合地区におきまして、市政懇談会等で御要望いただいております中山地区の谷浅見平野線を１か所、次に、舗装修繕につきましては３か所予定しておりまして、１か所が宇井地内の宇井線です。２か所目が、志鳥上地内の志鳥東線です。３か所目が、野上地内、２９４号との交差点につきましては既に工事を完了しておりますが、ほかに傷みが激しいとこ

ろがありますので、そちら、野上神長線を３か所目として実施をします。

次に、議会でもいつも要望を受けております区画線の引き直しでございますが、これにつきましては、市内の市道全般において消えかかっている箇所が多く存在しておりますことから、いま一度、現地調査を実施しまして、安全性や交通量等を考慮し、優先順位をつけて工事を実施してまいりたいと考えております。

次に、同じく予算概要１５ページ、未来につなぐ安全安心な暮らしを守るふれあいの道づくり事業費についてお答えをいたします。

地域の方との協働で生活道路を整備するふれあいの道づくり事業でございますが、令和７年度におきましては、継続で実施中の地区が６自治会ございます。申し上げますと、向田西二、大桶上、谷浅見上、三箇上、宇井、曲畑の６自治会でございます。４月になりましたらば、令和７年度の申請を受け付けてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　　小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　　概要書２１ページ、庁舎整備基金についてお答えいたします。

２３８万３，０００円の積立てが妥当かという御質問ですが、こちらの２３８万３，０００円については、預金利息の見込みでございます。３月補正に上程しました２億円の積立てについては、概要書作成時は未定であったため、こちらには反映しておりません。よって、令和７年度末の残高見込みについては２５億８，０００万円余となる見込みでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一）　　ただいまいただきました水道料金の上がる見通しということで御質問いただいた件でございますが、来年度経営戦略の見直しを予定してございます。その見直しの中で、料金の値上げ等についても検討を図ってまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　４番堀江清一議員。

○４番（堀江清一）　　それでは、再質問をさせていただきます。

まず最初に、清水川せせらぎ公園の改修工事なんですけども、設計ができまして、その時点でいろいろ要望が、例えば議会なり一般市民の方が、いや、ここはこうしたほうがいいんじゃないかという要望があったときには、そこを変更する可能性はあるのか、まず、それが１つ。

それと、都市計画総務費というところで、そこに絡んで駅前に市が取得したイベント広場的なところですか、今回、多分、この駅前関係をやられたというのは、たまたま偶然なのか庁舎整備が浮上したので、急遽始まったのかなんて勝手に考えてしまいます。それで、駅前のイベ

ント広場、当時、取得したときの金額と、フェンスを付けたりする工事費とか、もし分かればお伺いをしたいと思います。

それと、道路保全に関してですけども、いろいろこの道路保全、修繕箇所というかいろいろありますけども、辺地債を使った道路整備というのがありますが、その辺地債だけを当てにしているのかどうか。どうも細切れ状態の進み具合で一向に進まないというのが現状です。それを言っているのは、道路が整備が終わって急に狭くなったりして非常に危険なところが見受けられたりするものですから、いっそのこと合併特例債できっちり最後までやっちゃったらいいんじゃないかななんて勝手に思っているんですけども、そういうこともできるかどうかをお伺いします。

ふれあいの道づくり事業についてですけども、ふれあいの道づくりを申請された場合、ほぼ申請が通るという状況なのか。緊急性のあるところを優先するという考えがあるのかお伺いをいたします。

庁舎整備基金については、了解いたしました。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　まず、清水川せせらぎ公園の設計の変更についてでございますが、コンセプトにありますとおり、基本的なものについては変更できません。小さい変更であれば、現場対応ということで変更はできると思いますが、基本的には今回の設計のとおり進めてまいりたいと考えております。

次に、辺地債事業で整備をしている道路に合併特例債をということでございますが、辺地債につきましては、特に有利な財源でございますので、曲畑と志鳥については、辺地債事業ということで取り組んでまいることになりますので、よろしくお願いします。急に道路が狭くなって危ないというような箇所につきましては、都市建設課のほうに申出をいただければ、矢印等誘導の標識を立てて安全性を図ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから、ふれあいの道づくり事業、申込みをすれば、どうなのかということでございますが、今の申込みが、１路線の事業費が高い路線が多いものですから、何年かに分けて事業を実施していただいているという状況でございますので、よろしくお願いします。緊急性の高い箇所につきましては、優先的に事業のほうを取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

すいません、駅前のＪＲバス関東の買収については、ちょっと手持ち資料がございませんので、申し訳ございません。

○議長（青木敏久）　　４番堀江清一議員。

○４番（堀江清一）　後で分かりましたらお聞きしに伺いますので、ぜひよろしくお願いをしたいと思います。道路に関しては、やはり生活に直結する道路ですので、生活に支障のないように、できるだけ市のほうも親身になって取り組んでいただければと思います。

ほぼ了解いたしました。

私は以上で質問を終わりたいと思います。

○議長（青木敏久）　ほかに質疑はございませんか。

５番興野一美議員。

○５番（興野一美）　それでは、質問させていただきます。

まず、全て概要版からですので、よろしくお願いします。

まず、４ページ、ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業費なんですけども、応援事業費は月３，０００円で１２か月だと３万６，０００円、３００万円ぐらいしかかからないと思うんですけども、そのほかの内容についてお願いします。

同じく４ページの、なすからこども園運営費に関しては、髙木議員が同じ質問していますので、割愛させていただきます。

６ページの校内教育支援センター、これも髙木議員が質問してあるんですけども、現在の不登校の生徒の人数、それと、今後、来年度は何人の生徒を予定しているか、分かる範囲でお願いいたします。

８ページのなすからブランド認証業務、今までも認証していたと思うんですけども、今回、どこが違うのか教えてください。

８ページの、持続可能な農林漁業育成戦略、稼ぐ農業への転換とありますけども、どのような計画、難しい問題だと思うんですけども、分かる範囲内でお答えください。

８ページの新規就農総合支援事業についても、髙木議員の質問と一緒ですので、割愛させてください。

これ、概要版も予算書もないんですけども、農業士会への補助金について、塩谷南那須地区農業士会の補助金が予算化されていないのはなぜか。昨年の９月補正でも通っているんですけども、今回、予算化されていませんので、質問させていただきます。先日、先日というわけでもないんですけども、１月ですか、南那須地区の農業士の会長から相談がありまして、本市と那珂川町だけが出てないと。非常に肩身の狭い思いをしていますので、ぜひ、補正予算でも結構なんで、予算出してもらえるようによろしくお願いいたします。

１２ページの生涯学習施設整備計画策定事業については、福田議員が質問していましたので、割愛させていただきます。

１４ページの奨学基金運営費４１０万円とありますけども、１人当たりの給付金額と人数を

伺います。

以上です。

○議長（青木敏久）　　水上こども課長。

○こども課長（水上和明）　　それでは、私のほうからは、概要版４ページ、ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業費について御説明いたします。

この事業でございますが、大きく２つの事業がございまして、１つは興野議員がおっしゃられたとおり、市の赤ちゃん応援券交付事業でございまして、赤ちゃん訪問、また４か月健診、８か月健診時に、１回１万２，０００円分の応援券を３万６，０００円分交付しまして、市の協力店舗でおむつ関連用品や授乳関連用品が購入できるものとなっております。

もう一つが、出産子育て応援給付事業費でございまして、出産応援給付金として、妊娠届出時に５万円、子育て応援給付金として赤ちゃん訪問時に５万円を給付するものでございまして、令和７年度約７５０万円を予算化しているところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　私のほうからは、校内教育支援センターの設置に関する内容についてお答えいたします。

まず、不登校の児童生徒数につきましては、令和５年度にはなりますが、小学校が７名、中学校が３９名います。令和６年は、１２月現在で全てが集計できているわけではないんですが、小学校が１５名、中学校が３３名という計算になっております。校内教育支援センターのほうの利用は最大で大体１０名程度ぐらいが利用できるのかとは考えております。不登校につきましては、家庭での支援、それから校内ではなくて、教育支援センターのほうの利用、さらにそこに今度校内教育支援センターを設置して、３つのパターンをうまく連携させていこうと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、奨学金の給付費について御説明いたします。奨学基金の運営費につきましては、継続者が、高校生が４名４０万円、短大生が１名で２０万円、大学生が１０名で２００万円の合計１５名で２６０万円となっております。あと、予算のほうで新規見込みにつきましては、高校生５名の５０万円、大学生等５名の１００万円で１５０万円を見込んで合計４１０万円としております。給付額につきましては、高校生が年１０万円、大学生等が年２０万円の給付となっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　星商工観光課長。

○商工観光課長（星　貴浩）　　私からは、なすからブランド認証業務についてお答えさせて

いただきます。なすからブランド認証品ですが、３年に一度、認証の見直しをしてございます。現在のものが令和７年度までの認証期間でございまして、新たな認証品を令和８年度からのものを認証するのが令和７年度の業務となってございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　私のほうから、概要版８ページの、稼ぐ農業への計画についてお答えしたいと思います。稼ぐ農業への転換というかなり難しい問題ではあるんですけども、今現在、那須烏山市としましては、土地利用型からの脱却ということで、特に園芸作物への転換を推進してございます。また、関係機関一体となって、推進計画を今現在立てているところでございます。例えば県においてはサツマイモ、ＪＡにおいては里芋、イチゴ、ナシ、ニラの推進をするための計画を図っておりますので、そこと連携しながら、稼ぐ農業の転換の計画というのを推進したいと考えてございます。

また、農業士会への補助金ということで、概要版等には載ってございませんけども、こちらにつきましては、塩谷地区の農業士会と南那須地区の農業士会が合併したことに伴いまして、これまで南那須地区の農業士会には、那須烏山市、那珂川町とも負担金を払ってございませんでした。昨年令和６年９月の補正予算で２万円を計上したところでございますけども、事務局を担当します塩谷南那須農業振興事務所のほうから、この合併に伴った残金を精査したところ、かなり多額の残金が残っているということで、補正は組みましたけども、令和６年度の執行がなかった。そして、令和７年度においても、まだ残金が残っているというところで、法令外負担金の申請がなかったところであるため、予算措置には至ってないところでございます。ただし、令和８年度以降の予算措置につきましては、事務局であります塩谷南那須農業振興事務所と協議をしながら、そして那珂川町とも協議しながら、このような負担金の対応について推進をしていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　５番興野一美議員。

○５番（興野一美）　　それでは、再質問させていただきます。

なすからブランド認証業務についてなんですけども、これは随時認証しているわけじゃなくて、認証の年だけが３５万２，０００円、来年度がそうなんだと思うんですけども、随時追加するというわけではないんですか、お答えしてもらいたいと思います。

それと、農業士会の補助金なんですけども、ということは、令和８年度ということは来年度は出ないということなんでしょうか。ほかの４市町は前から出ているというということなんで、７年度もできれば補正で対応していただきたいと思います。

それと、最後に、１４ページの奨学基金なんですけども、給付ということは、返済義務はないということでよろしいんでしょうか。

○議長（青木敏久）　　星商工観光課長。

○商工観光課長（星　貴浩）　　ブランド認証の時期でございますけれども、興野議員からおっしゃっていただいたとおり、こちらは３年に一度のみ認証してございます。そのため、随時は行っておりません。令和７年度に募集しまして、認証していきたいと思っております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　法令外負担金の支払いについては、法令外負担審議会のほうで決定する事項であり、年度の途中はなかなか難しい問題でありますけども、そちらのほう、検討を図ってまいりたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　奨学基金運営費につきましては、給付でありますので、返済義務はありません。

○議長（青木敏久）　　５番興野一美議員。

○５番（興野一美）　　了解しました。終わります。

○議長（青木敏久）　　ほかにございませんか。

７番矢板清枝議員。

○７番（矢板清枝）　　それでは、令和７年度当初予算の総括質疑をさせていただきます。

私は、予算書４５ページ、社会保障税番号制度システム整備事業費２，８８６万４，０００円の事業内容をお伺いします。

次、予算書４５ページ、運転免許証自主返納者支援事業費７２万円の事業内容と対象人数をお伺いいたします。

４７ページ、防犯施設整備費４０万円の事業内容をお伺いいたします。

７１ページ、地籍調査事業費５，５９７万７，０００円の事業内容と、地区名及び面積等をお伺いいたします。

７３ページ、木材利用・普及啓発事業１万２，０００円の事業内容をお伺いいたします。

８３ページ、空家対策事業費２，４６９万５，０００円の事業内容をお伺いいたします。

１１２ページ、龍門の滝太鼓橋解体工事費、工事の期間、解体後の架け替えなどの事業内容をお伺いいたします。

概要版８ページ、園芸振興事業費、これは先ほどもお伺いしているところではございますけれども、詳細な事業内容をお伺いいたします。

それから、概要版１５ページ、各種公共交通運行管理費、詳細な事業内容をお伺いいたします。

概要版１１ページ、ＪＲ烏山線利用促進事業費、これも詳細な事業内容をお伺いするものでございます。

以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　冒頭に申し上げます。御質問の一番最初、社会保障税番号制度システム整備事業費、こちらは市民課になりますので、常任委員会での御質問でお願いいたします。

○７番（矢板清枝）　大変失礼いたしました。よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　予算書４５ページ、運転免許証自主返納者支援事業費です。これは、タクシー券またはバス利用券の１万６，０００円分を交付するというものです。見込み人数は４５名分を見ております。７２万円となります。

防犯施設の整備費は、新規に防犯灯を自治会から要望があったときに予算措置しているもので、防犯灯は１０基程度見込んでいるところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　矢板議員から御質問をいただきました予算書７１ページ、地籍調査事業費５，５９７万７，０００円の事業内容と地区名及び面積等についてお答えいたします。地籍調査事業は、３年をサイクルで実施しておりまして、１年目に関係所有者の現地立会いを求め、一筆調査を行い、業務を受注した業者による測量をします。２年目に、測量成果を基に地図を作成し、所有者に閲覧をいただき、誤りがないことを確認します。３年目に、国の承認を受け、知事からの認証を受けて法務局へ送付という流れで進めております。

令和７年度におきましては、中央の６地区、これを１年目工程としまして、現地調査を実施します。この委託に要する費用が３，７００万円を予定しております。場所につきましては、市役所烏山庁舎の入口の中央交差点から西へ神長トンネルまでの県道宇都宮那須烏山線の両側と毘沙門さんの周囲の面積が０．３３平方キロメートルでございます。もう１地区が、城山１地区でございまして、こちらは２年目の工程ということで、面積測定と閲覧を実施します。この委託に要する費用が７００万円を計上しております。場所は、主に烏山城が国指定を受けた区域でございまして、面積は０．７１平方キロメートルでございます。そのほかの経費としましては、会計年度任用職員の人件費、地籍調査支援システムのリース料などを含めまして、合わせまして５，５９７万７，０００円でございます。

次に、予算書８３ページ、空家対策事業費１，４６９万５，０００円の事業内容についてお答

えいたします。令和７年度の新規事業としまして、市内に存在する空き家の実態を調査し、今後の空き家の適正管理や空き家バンクの利活用の促進につなげていくために、空き家の実態調査を業務委託により実施をいたします。その経費としまして１，２１０万円。管理が不完全で老朽化した空き家の解体補助、こちらを１件５０万円、５件分としまして２５０万円計上いたしました。ほかに、空家等対策協議会、こちらの開催の際の委員報酬としまして８万円、管理不良の空き家所有者への通知文の発送、こちらの郵送料として１万５，０００円を計上しまして、合わせまして１，４６９万５，０００円でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　私のほうから、２点お答えしたいと思います。

まず、木材利用普及啓発事業費の１万２，０００円でございます。予算的には、１万２，０００円ということで非常に少額でございますけども、この事業につきましては、苗木の配布会と合わせまして、木工教室に対する事業になってございます。苗木の配布会につきまして、その費用については、緑化推進委員会、県のほうからの補助金で賄っておりますので、予算措置はされていませんけども、この１万２，０００円につきましては、図書館祭り等において、子供たちの木工体験教室を開催するための経費となってございます。

次の園芸振興事業費の１，５００万円についてでございます。こちらにつきましては、先ほど興野議員の質問にお答えしましたように、稲作からの脱却ということで、昨年度より園芸作物への作付転換、高収益作物の導入によります農業者の所得向上を目的にしました補助金となってございます。事業内容につきましては、パイプハウス、果樹棚の整備ということで、上限１５０万円を対象に１０名の新規栽培者、また、規模拡大者の確保に向けた事業費となってございます。対象品目につきましては、イチゴ、トマト、花卉、花です。ニラ、シュンギク、アスパラ、ナシ、キウイ等の施設整備に活用する予定でございます。

以上であります。

○議長（青木敏久）　　星商工観光課長。

○商工観光課長（星　貴浩）　　私からは、予算書１１２ページにあります龍門の滝太鼓橋の解体工事の時期と、その後の予定についてお答えさせていただきます。龍門の滝太鼓橋ですが、こちら、ふるさと民芸館のところから龍門の滝の滝つぼのところまである遊歩道のところの途中にあります木製の橋でございます。現在、危険なため通行止めとしております。こちらを撤去工事、撤去させていただきますが、これから観光客が多い時期になってきます。そういったことですとか、あるいは滝というところで水の量が関わってきます。そういったところも考えまして、観光客が少なくなって水の量が減ってくる冬季に実施したいと考えてございます。

それと、その後の予定ですけれども、現在、撤去後どうするかというのは決まってございま

せん。現在、観光振興ビジョンの進捗管理をするために、市民会議等を開催して市民の声をいただきながら観光振興ビジョンの進行管理をしていこうと思っておりますが、そういった中で、その龍門の滝の整備についても、市民の方の声を拝聴しながら、今後検討したいと思ってございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫）　　まちづくり課関係２つでございます。順番に行かせていただきます。

概要版１５ページです。各種公共交通運行管理費７，７７９万７，０００円でございます。大きく４つございます。１つ目が、デマンド交通運行管理費４，７４３万１，０００円です。こちら、デマンド交通のコールセンターの受付業務と運行業務の委託でございます。

２つ目ですが、烏山高部線の運行管理費１，１０５万２，０００円です。市営バスの運行費としまして９１３万４，０００円。それと車両のリース代でございます。

３つ目が、市原黒田烏山線運行管理費の１，３３５万６，０００円。こちらも運行費と車両のリース料を含んでおります。それと、生活路線維持対策費としまして５９５万８，０００円ですが、こちら、那珂川町のコミュニティーバスです。こちらに対しての市の負担金ということで計上させていただいております。

続きまして、概要版の１１ページ、ＪＲ烏山線利用促進事業費６７３万９，０００円でございます。こちらは３つございまして、通学定期券購入費補助金、こちら、５００万円を計上しております。団体利用促進助成金４２万４，０００円でございます。それと、利用向上委員会交付金としまして、１００万円を計上させていただいております。残り３１万５，０００円につきましては、職員の旅費、消耗品費、それと通信運搬費等でございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　７番矢板清枝議員。

○７番（矢板清枝）　　それでは、おおむね了解はしたところではございますけれども、空き家対策の空き家の部分で、解体補助のほうが５件分出るとなっているんですけれども、これは粗々もう大体目星をつけて決まっているものなのか。また、決まっていないならば、本当にずっと心配をしている部分があるんですけれども、それも対象に入ってくるのか、ちょっとお伺いしたいんですけれども、熊田大和久のところのあれなんですけども、そこのところを決まっているかどうかの確認をさせていただきたいと思います。

それから、ＪＲ烏山線の利用向上のことなんですけれども、通学定期については了解いたしました。団体利用の４４万５，０００円というところなんですけれども、今までは烏山駅で切

符が販売できたと思うんですけれども、今度販売ができないところ、それをどのように補助を受付して、どのように皆さんに支払っていくのか、その部分はきちっと決まっているのかどうかお伺いしたいものであります。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　空き家の解体補助でございますが、まだ決まってはおりません。こういう空き家があるという相談を受けて、私どものほうで現地を確認し、その後、空家協議会を開催しまして、特定空家と認定になった後、補助を交付するということの流れになりますので、まだ５件は想定しておりますが、決まったものはございません。

○議長（青木敏久）　　大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫）　　御質問いただいた内容ですが、かなり悩ましい問題でございまして、事務局側としましても、一番何がいいのかということで今検討しているところでございます。何をもって申請の書類とするのかというところからのスタートで始まっていますので、もうしばらく時間をいただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　７番矢板清枝議員。

○７番（矢板清枝）　　それでは、お伺いしたのを了解いたしました。

それと、ＪＲ烏山線の利用向上に関しましては、しっかり検討していただいて、やはり市民が乗りやすい形をしっかり検討していただければと思いますので、提示のほうをしっかりお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（青木敏久）　　ここで暫時休憩いたします。

再開を１３時５分といたします。

休憩　午後　０時０３分

再開　午後　１時０５分

○議長（青木敏久）　　休憩前に引き続き会議を開きます。

質疑はございませんか。

８番滝口貴史議員。

○８番（滝口貴史）　　それでは、令和７年当初予算の質疑をさせていただきます。

概要版１１ページ、もう皆さんが聞いたものもありますけれども、改めて全て聞かせていただきます。よろしくお願いをいたします。

道路保全費、道路照明ＬＥＤの改修の詳細についてお願いします。

概要版１２ページ、まちづくり団体支援事業費、新規事業の詳細について説明をお願いいたします。

今度は予算書から３９ページ、栄典事業費、これは市の表彰式など、そういうものだと思うのですが、内容についてお願いをいたします。

予算書４３ページ、地域おこし協力隊事業費、７８２万2,０００円の詳細についてお願いをいたします。

予算書４５ページ、デマンド交通運行管理費について詳細を伺います。

４７ページ、犯罪被害者支援事業費、内容についてお願いをいたします。

４７ページ、住宅リフォーム助成事業費、改めまして、詳細をお願いいたします。

７１ページ、農地集積・集約化対策事業費、詳細を伺います。

７３ページ、鳥獣被害対策事業費、詳細を伺います。

７９ページ、先ほども質問がありましたが、ふれあいの道づくり事業費、どのような路線を予定しているのか伺います。

７９ページ、道路整備費、こちらは普通の道路整備費の、通常予算で何路線予定しているか伺います。

予算書８３ページ、常備消防費、消防の施設については、いろいろ分からないところもありますので、よろしくお願いいたします。

消防施設管理費、整備費、同じく詳細を伺います。

同じく８５ページ、消防水利管理費、整備費、詳細を伺います。併せまして、水防費詳細を伺います。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　滝口議員から御質問をいただきました予算概要１１ページ、道路保全費の道路照明ＬＥＤ改修7,７００万円についてお答えいたします。

市道には、３２２灯の道路照明がございます。そのうち既に球切れや不具合でＬＥＤ照明に切り替えたものが２０灯ございます。残りの３０２灯につきまして、令和７年度、令和８年度でＬＥＤ化に取り組んでまいるものでございます。令和７年度におきましては全体の６割相当の１８０灯を改修する予定でございます。残りを令和８年度に改修することで予定しております。

次に、予算書４７ページ、住宅リフォーム助成事業についてお答えいたします。

６０２万2,０００円の予算のうち、６００万円につきましては、市内の事業者に住宅リフ

ォーム工事をお願いしたものに対し、３０万円以上の工事費に対して１０％、もしくは１０万円を限度として助成するものでございます。令和６年度現在までの実績としましては、４３件の申込みがございます。

次に、予算書７９ページ、ふれあいの道づくり事業についてお答えをいたします。

現在事業を展開しておりますのは６自治会ございまして、向田西二、大桶上、谷浅見上、三箇上、宇井、曲畑の６か所でございます。令和７年度分の申請も４月から受付をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

次に、同じく予算書７９ページ、道路整備費２億７，３２７万３，０００円についてお答えいたします。

国の社会資本整備総合交付金事業のうち、社会資本分として３路線、防災・安全分としまして４路線、７路線を実施しております。

まず、社会資本分としまして実施しているものが、１つが、七合小学校の通学路として整備しております、谷浅見平野線。２か所目が４月にオープンとなります、なすからこども園のアクセス道路となります大金東原線。３か所目が、富士見台工業団地線でございます。

次に、防災・安全分として整備しております４路線です。１つが、那須烏山消防署の東側の関下精神場線。２か所目が、那珂川町へ連絡します八溝グリーンラインの白久地内、大桶白久線。３か所目が下境地内、防災集団移転の移転先にも絡みます浄土入山線という路線です。４か所名が宮原地内、県道常陸太田那須烏山線から宮原公民館のほうに入ります丁字路から接続する道路の宮原森下線、以上、７路線を実施予定でございます。

よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫）　　まちづくり課関係で３つ御質問いただきましたので、答弁いたします。

まず、概要書の１２ページ、まちづくり団体支援事業費、こちらの新規事業の詳細についてということでございます。こちらにつきましては、新規事業が３つございます。

まず、１つ目ですが、市民協働アドバイザー講師謝金としまして３万円を計上しております。協働のまちづくりを推進する観点から、大学教授などを講師に、登録団体を対象にした協働に関する相談会を実施する予定でございます。今年度は登録団体制にしまして、現在は９の団体がありますので、そういった方々を対象としての講師謝金になります。

２つ目ですが、市民協働プラットフォームコーディネート業務委託としまして、２０万円を計上しております。

令和７年度ですが、都市と農村との交流事業について、地元のＮＰＯにコーディネートを依

頼し、市内で様々な活動をしている市民団体の取組を組み合わせまして、都市住民の受入れ体制の構築と持続可能な交流の実現を目指してまいりたいと思っております。

３つ目ですが、市民活動を支援する物品貸出し制度の運用のための備品購入費としまして、４９万９，０００円を計上しております。

令和３年度に市内のまちづくり団体を対象としましたアンケート調査の結果を踏まえて、団体活動の発表会、イベントの実施などに役立つプロジェクター、スクリーン、パイプ椅子などの備品を市が購入しまして貸出し制度を創設し、まちづくり団体の活動を支援したいと考えております。

続きまして、予算書４３ページの地域おこし協力隊事業費、７８２万２，０００円の詳細についてということですけれども、こちらにつきましては地域おこし協力隊の人件費としては、報酬、期末手当、勤勉手当、社会保険料、共済組合などの合計が３４８万４，３８６円でございます。

隊員の活動費としましては、普通旅費、公用車のリース料、モバイルルーターのレンタル料、補助金などで、１２１万７，３６０円でございます。

それと、隊員のスキルアップを図る研修としまして、ＳＮＳの運用セミナーの受講料や、起業支援セミナーの受講の負担金など、こちらが３０万３，７３６円。令和８年度採用隊員募集に要する費用としまして、５７万６，０００円を計上しております。

それと隊員の起業に伴う支援補助金として５０万円、そのほか隊員と定期的に面談を行い、活動状況の把握とアドバイスの実施、隊員のニーズに応じたアドバイザーの派遣など、隊員の日々の活動をサポートする業務委託に４９万９，９５０円などを計上しております。

続きまして、予算書４５ページ、デマンド交通運行管理費の詳細を伺うということですが、こちらも、大きく分けて３つございます。

１つ目が、コールセンターの受付業務、こちらに１，２６４万６，０００円をかけております。それとデマンド交通運行業務に３，４７３万１，０００円、こちら３地区分でございます。それと、事務経費、郵送料や事務経費がかかりますので５万４，０００円、合わせて４，７４３万１，０００円ということでございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　　それでは、予算書３９ページ、栄典事務費でございます。

これにつきましては、議員がおっしゃるとおり例年やっている市の表彰式の費用になります。表彰状の印刷製本費、額縁や記念品などの報償費、また、それに係る消耗品費でございます。合計で４１万６，０００円の予算を計上してございます。

続きまして４７ページ、犯罪被害者支援事業費でございますが、こちらにつきましては、令和５年度に条例を制定し、予算化しているものでございます。

市民が犯罪等により死亡、疾病を負った際に、犯罪被害者及びその遺族に見舞金を支給するものでございます。遺族見舞金として３０万円を１名予算、重傷見舞金として１０万円を１名、合計４０万円の予算化をしてございます。実績は令和５年度に１人がいたのみとなってございます。

続きまして、予算書８３ページ、常備消防費でございますが、これは南那須地区広域行政事務組合の消防に係る負担金に全額なります。

続きまして、８５ページ、消防施設管理費、整備費でございます。管理費につきましては、サイレン吹鳴システムに係る維持経費、また、火の見やぐらを解体する予定を組んでございますので、第６分団第４部月次でございますが、１９６万９，０００円ほどの解体費を見込んでございます。

もう一つは、消防施設整備費でございます。こちらは火の見やぐらの解体と、それに伴ってホースポール乾燥塔を設置するというものでございます。これにつきましては、第３分団第２部上境、第７分団第３部田野倉、合計で７７３万３，０００円の整備費を見込んでございます。

続きまして、消防水利管理費と整備費でございます。

消防水利管理費につきましては、防火水槽などの蓋の修繕、それと工事請負ということで、駅前の南那須工区電線共同溝整備に伴う撤去が予定されております。県の事業になりますが、３１３万５，０００円。また、東原の市道拡幅工事に伴う水利の撤去でございます。２５３万円の計上をしてございます。

それ以外につきましては、上下水道の水道事業に伴って、消火栓等を設置した場合の負担金に１２０万円ほどの予算を計上してございます。

それと消防水利の整備費でございますが、これも消防水利に係る整備になります。上下水道課で水道工事をした際に、消火栓を設置した場合に、それにかかる負担金として１１０万円ほどの予算を計上してございます。

続きまして、予算書８５ページ、水防費でございます。

これにつきましては、水防協議会の委員報酬、また、災害時の土のうの川砂、そのほかに今年度水防訓練を実施しましたが、次年度におきましてもそれに伴うような災害訓練費３０万円ほどを市単独で組んでございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　私からは予算書７１ページ及び７３ページの２つの事業について御説明申し上げます。

まず、７１ページの農地集積・集約化対策事業費でございます。

こちらにつきましては、農地バンク事業、いわゆる農地中間管理事業によります、担い手の農地の集積・集約化を推進するための支援の事務費でございます。予算額については２万８，０００円となってございますけれども、この事務経費のほかに、農地バンク事業の事務を行う会計年度任用職員の人件費を別途、農業委員会運営費に２０２万４，０００円を計上しているところでありまして、総額で２０２万５，０００円の事業の内容となってございます。

続きまして、７３ページ、鳥獣被害対策事業費５６８万５，０００円でございます。

こちらにつきましては、野生イノシシの捕獲に関わる事業となってございます。イノシシを捕獲する鳥獣被害対策実施隊、今は４８名の登録がございます。その報償費として１人２，０００円を交付しておりまして、その報償費で９万６，０００円。また、イノシシを１頭、これは成獣でございますけれども、捕獲した場合には、国、県、市から１頭１万８，０００円の捕獲報奨費が出るところでございます。

令和７年度は２００頭の捕獲を予定しておりまして、こちらの金額が３６１万円という内容になってございます。

また、イノシシを捕獲するに当たって、イノシシのわなであるとか、巻狩りに対して手数料がかかります。その手数料の費用として４万５，０００円を別途計上、または、猟銃等を捕獲する際の免許取得費用の補助として５人分５，０００円で２万５，０００円の補助をみておりますし、また、イノシシの捕獲に対する電柵の設置補助を１１０万円ほど見ております。

総額で５６８万５，０００円の事業の内容となってございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　８番滝口貴史議員。

○８番（滝口貴史）　　一通り説明をしていただきました。何点か再質問をさせていただきます。

道路保全費は２年間かけて３０２灯をＬＥＤ化していくということで了解をいたしました。

まちづくり団体の話も了解いたしました。

３番目の栄典事業費、市の表彰式ということで、私の理解は合っているなと思ったのですが、今年は市制２０周年なのでこの額で足りるのかと、正直思いましたので、これは補正でも組んで、後でもし２０周年の記念事業なので、表彰の対象者も増えたりいろいろするので、通常どおりでは足りないのかなと思い質問をさせていただきました。お願いをいたします。

それと、地域おこし協力隊、今現在２名おられますけれども、１名の方が卒業して、烏山に

残っていただけるというお話を聞いております。

新しい協力隊の方を呼ぶのには５０万円の費用をかけて呼ぶというような、探すと言っていましたけれども、これはどのような方を呼びたいのか、お伺いをいたします。

デマンド交通の管理費は了解をいたしました。

犯罪被害者支援事業費も了解いたしました。

住宅リフォーム助成金も了解いたしました。

農地バンク、農地の対策も了解いたしました。

鳥獣被害対策事業費で現在、実施隊が４８名ということで、この方が、僕の感じでは日当が２，０００円ではなくて、１年間の報酬が２，０００円という形で、これはよろしいのですか。１回出てもらって２，０００円だと僕は理解してもらっていたので、１年間の年俸が２，０００円ということですね。それは何とかしなければいけないとずっと思っているところなのでよろしくお願いをいたします。

現在４８名で、今、いろいろ免許の取得の補助金なども出しているけれども、これは増えているのですか、減っているのですか。現状をお願いいたします。

道路整備費の７路線、了解いたしました。

常備消防費の話は、南那須地区広域行政事務組合の負担金ということで了解いたしました。

消防施設管理費の話で、サイレンの吹鳴システム等々を管理しているお金とお聞きしました。それと、月次の火の見やぐらの解体の話という形で整備費と合わせてこの額だという話、これも了解しました。

消防水利管理費のほう、防火水槽や消火栓の管理のお金ということは分かりましたが、防火水槽が現在どこにあるのか、正直市内、分からなくなってきています。看板がもうめちゃくちゃになっていると思います。命に関わる事業ですから、この看板だけは何とかしていただかないと、と思いまして、この質問を入れさせていただきました。よろしくお願いいたします。

水防費に関しましては、了解いたしました。

以上でございます。再質問、何点かお願いをいたします。

○議長（青木敏久）　　小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　　ただいまの２０周年記念事業についてお答えいたします。

現在、庁舎内で２０周年事業について、どのようなことができるかというところで検討中でございます。予算につきましても、令和７年度の補正予算で対応させていただきたいと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　　消防水利の看板等が見えなくなっているという点に関しましては、通常消防団員の点検活動、または、消防署員がそれぞれの点検活動において表示が薄くなった看板等については連絡が来ておりますが、改めて指示をし、点検させたいと思っております。

以上であります。

○議長（青木敏久）　　大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫）　　地域おこし協力隊事業費について御質問いただきましたので、お答えをいたします。

新しい地域おこし協力隊の隊員につきましては、４月１日からの隊員については、実は内定はしております。

ただ、国の考え方もあるのですけれども、地域おこし協力隊は増やしていくということでありますので、また、新年度になりましたらインターンというやり方がありますので、そちらのインターンの報酬費４人分を見ておりまして、そちらが議員御指摘のとおりの費用になります。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　鳥獣被害対策事業費におけます、報償費の件でございます。

今４８名に対して２，０００円でございますけれども、こちらにつきましては非常勤特別職としての報酬でございますので、見直し等については今後検討させていただくとともに、猟銃に対する取得費用の補助でございますけれども、なかなか、猟銃の許可をもらって実施隊に加入してイノシシを捕獲するという方が、今のところ本当に少ない状況でございまして、予算的には５名ほどの予算を組んでおりますけれども、例年２名、３名という程度となっていますので、もう少し実施隊の人数を増やしたいとは考えてございますけれども、そちらの実施隊の確保という点でも、今後検討を図ってまいりたいと考えてございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　８番滝口貴史議員。

○８番（滝口貴史）　　今、再回答をいただきました。

栄典事業費は今、総合政策課を中心として考えているということで了解いたしました。

次の、地域おこし協力隊５０万円の予算は、新しい方をさらにインターンとして呼び寄せるためのお金だと理解をさせていただきました。ぜひ来ていただけるように、どんな形でもいいですから、やはり、このまちを愛していただく方、よそから来ていただいて、よろしいかと思いますので、よろしくお願いいたします。

鳥獣被害対策の話ですが、やはり今、県内全体でどこの自治体へいっても減っている。日光市などでは、この前の新聞に載っていましたが市議会議員が３名みんなで一緒に取ろうという

ことで取って、新聞に３名が載っていました。

ですから、やはり、皆さん、この補助の仕方というか、補助金は出しますというのではなくて、イノシシをどうにかしなくてはいけないのは分かるのですが、やはり銃砲の免許の取り方さえ分からないと思うのです、説明、興味がないという人には全然関係ない話になってしまうので、私も仕事で射撃場の管理をしろと、昔職場で言われたのです。なので、取りにいったのです。試験も受けました。ただ鉄砲が買えなかったのです、安いものではないですから、やるよって言われても困ってしまうのですよね。ロッカーをつけた何だで結局総額、免許を取ってもプラス１００万円ぐらいかかります。なので、そういった補助までしてあげないと、結局は銃砲を取っても続かないと思います。こういうのも何とかしていただければと思います。考えていただければと思います。

下水道の管理費、防火水槽等々、本当に看板です。どこに水利があるか、特に烏山地区はよく見えるのですが、特に南那須地区はもう全然見えないです。どこに防火水槽があって、新しいところはまだ分かるのです。防火水槽と古い消火栓でさえよく分からない。看板が立っていない。これは、昔、市のサイン計画など、ああいうお話もあったと思うのですが、文化財の看板も駄目ですし、いろいろな看板が今、本当に市の看板が駄目になっています。看板は市の、他市町から来た人はその看板を頼りにするので、ぜひとも、きれいにしていただけますようお願いをいたしまして、質問を終了いたします。ありがとうございました。

○議長（青木敏久）　　ほかにございますか。

９番小堀道和議員。

○９番（小堀道和）　　小堀でございます。

予算書の論議なので、ぜひ、最初に質問する前にお願いしたいのは、このお金はどういうふうに使うのという質問をしたときに、こうです、あれをやります、これをやります、これは答えではないです。

要は来年はさらによくするというお金をつけているはずなので、目標をこれだけ上げて、こんなのを考えて施策、政策を考えていきますよというような答えが一番市民にとっても分かりやすいし我々も分かりやすい、そうすると、すごく聞いていて感動するのですけれども、今まで１つもそういう答えがないので、私のところからはぜひ変えてくださいという思いで質問しますけれども、いいですか。

最初に、市全体の予算規模が大きくなっている。それを少し分析したのですけれども、これをやっていながら、これは総合政策課だから自分の担当ではないなと思いまして、これは常任委員会でやります。

やはり私が最初に目標をあげて成果を出しながらやるよという見方をすると、総合政策系の

質問が一番多くなっているので、だーっと書いたのですけれども、全部で２４のうち１３、半分ぐらいが総合政策など、そういうところなので、今回は短い時間で終わるかもしれませんのでよろしくお願いします。

最初に私の資料を見てもらいたいのですけれども、予算の特徴、概要の中、１番の未来につなぐ健やかな暮らしを支えるというページ４から５ですけれども、最初の質問は結婚・出産支援の充実を図るため子育て世代に、この充実の内容が出ていますけれども、子育て世代に本市独自のアンケートを実施分析し、新規の対策、施策を企画すべきと思うがどうか。とにかく、今までの延長線での取組では何も変わらないと思うのですけれども、この辺の期待を込めて質問いたします。

２つ目ですけれども、私の③と書いてあるものです。健康診査事業費の中で、若い世代のフレッシュ健診等の実施とありますけれども、昨年度までいろいろ施策を考えて実施してきたと思っていますけれども、さらなる成果を出すための施策と期待する成果目標をお伺いします。

これは担当の職員と話をすると、なかなか若い世代、マイレージなんかもいろいろ工夫しているのですけれども増えないのですという話は聞いているので、この質問をしました。

次、新型コロナの予防接種の助成２，４００万円強を計上していますけれども、対象者と自己負担率や、何名を見込んでいるのか、予算の市負担は何％、これは改めてお聞きしたいのですけれども、あと含めて、今後の見通しと何％ぐらい、対象のうちこれを申請するのかというのも含めてお聞きいたします。

次に、２番目の未来につなぐ学びを育むというページ６から７ですけれども、髙木議員のほうでも質問がありましたけれども、中学校管理費の校内教育支援センター設置に４０３万円を計上されていますけれども、この具体的施策内容を伺うのですけれども、これは小学校には必要、不要なのかという質問も出ましたけれども、私としては、今やっているような保健室登校の子たちの対応とか、その辺との関係はどうなっているのかと、これの責任者、センター長は誰なのかも教えてください。

次に、図書館運営の費用が出ていますけれども、図書館の年度の運営目標、特に市民にどんなメリットを与える施策を考えているか。目標と施策について、これはこれだけ取りました、今までと同じことをやるのですよというのは、こんなのは仕事というか作業なのです。一番僕が気にしているのは、市民にとって図書館はこんなふうなものにしたいのだと、当然、わくわくする目標がないと駄目なので、全くそれを感じないので、真剣に聞いてくれていますね、これを教えてください。

次に、７つ目、長者ヶ平官衙遺跡の保存費が費用として出ていますけれども、これは前から言っているのですが、あれは国の史跡なのです。あの案内板は、Ａ３の大きさのパウチで作っ

たような看板しかないので、史跡にふさわしくないので、ぜひせめて小河原の十二口ぐらいの、２倍とは言いませんけれども、あのぐらいのものがないと史跡ではないのではないのということを前から言っているのですけれども、ぜひこれは実現してほしいという、それに対してどう考えているかお伺いします。

次、これは予算が取れていないのですけれども、ぜひ伝えたいのですが、新入児童のランドセルの無償配付、私は一般質問をしましたけれども、重さも対策をしたり、持ちやすいとか、そんなのを含めた、あとお金の負担もあります。そんなことがあり、まず教育委員会として指定したらどうかと、ランドセルではないようなもの含めて一般質問をしました。

これは、ランドセルというイメージよりも、ほかの自治体、日本全国で結構こういう取り組んでいるところがあるのですけれども、それを基に質問をしたのですけれども、何と新聞を見てたら、市貝町が７０名ぐらいの新入児童に対してモンベルというブランド品を無償で配付するという記事を見て、物すごい衝撃を受けました。これは、今年、テレビでやっていたのは、ランドセル平均の費用は６万９，０００円だそうです。このモンベルのかばんは１万４，５００円。新聞を見たと思うのですけれども、みんなにこにこして、こんなに軽くて持ちやすく、１万５，０００円もしないということを見て、本当に憤慨して、これは俺が質問をしたから駄目なのかなと、中山議員もよく言いますけれども、ほかの人がやればよかったのかと思っているのですけれども、これは何とかしてほしいのです。この新聞記事を見て、これ、お父さんがやると駄目なのではないのと言っている人がいるのですけれども、ぜひこれを実現してほしいのです。真剣に聞いてください。こんなに、にこにこしているのですよ。無償です。うちは無償とは言っていないよね。個人負担があってもいいよという話なのですけれども、よろしくお願いします。

それと、１０番目、雇用対策事業として本市の企業紹介リーフレットを挙げていますけれども、馬頭高校から聞いたのですが、かなりうちのまちに就職している人がどんどん増えたのだと話をしていました。今年も予算を取っていますけれども、さらに効果を上げる策を考えているのでしたら教えてください。これは、ただ予算を取りまして、やりますよというのではなくて、そういう見地でもって答えてください。

商工総務費としてブランド認証費、これは興野議員やみんなが質問していますけれども、これも、今までの施策に対して、どんなバージョンアップ、どんどんこれは増えるようなやつ、あとは有効に活用するなど、そんなことの施策を教えてください。

続いて、次の２ページ目はほとんど私の担当なのですけれども、１２番目で髙木議員からも質問がありました新規就農者支援です。３８０万円を計上していますけれども、何人分かということと、過去継続、ずっとこれ継続の予算措置なのですけれども、実施していますけれども、

少し気になるのは、支援を受けてうちのまちで就農して、定着率はどのぐらいなのかが気になるので教えてください。

成功者という言葉を使うとすれば、どんな状況を言うのかも含めて、あとは、定着、何年かの予算措置が終わった後、辞めてしまうというのは一番寂しいのですけれども、その後、多分成功しているのは、いろいろな施策、いろいろな支援をやっていると思うので、その辺も含めて教えてください。

ばーっと全部、私の担当だ、最後の２２番で、生涯学習施設、これはシミュレーションするとか、いろいろな話があったので、福田議員が質問しましたのでこれはオーケーです。

以上、何点か分からない、回答をお願いします。

○議長（青木敏久）　　水上こども課長。

○こども課長（水上和明）　　それでは、私からは概要書から結婚・出産支援の充実を図るため、子育て世代に本市独自のアンケートを実施して分析しまして、新規施策を企画すべきと思うがどうかということで、お答えさせていただきます。

今年度は第２期子ども・子育て支援事業計画の最終期となってございまして、現在国のこども大綱の内容を含めた子ども計画の策定を進めております。

策定作業の中で、子供や子育てをしている方の状況や考えを把握するために、議員御提案のとおり、本市独自のアンケートを市内の小学６年生と中学３年生及びその保護者の方を対象に実施したところでございます。

３月２日付の下野新聞に、アンケートの結果の一部が取り上げられておりましたが、９割以上が日常生活などで幸せを感じているが将来子供が暮らすことには不安を感じている方が多く存在するなど、アンケートの実施によりまして、本市の現状が一部ではありますが把握できましたので、今後、アンケートの内容を分析しまして、先進地事例等の研究なども行いながら、全庁体制でギャップの解消につながる新規施策等を企画してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡　誠）　　では続きまして、健康福祉課に係るものを２点ほど回答させていただきます。

概要版５ページ、健康診査事業費でございます。

令和７年度の健康診査につきましては、婦人がん検診の強化を予定しております。

子宮がん検診においては、集団個別検診ともに、従来の細胞診に加え、ヒトパピローマウイルス、略しましてＰＨＶ検査を導入し、より精度の高い検査方法に変更いたします。

この検査方法の導入により、異常なしの方は、次回の健診が細胞診のみの国推奨２年に１回

から３年に１回に延長され、体の負担を軽減できることになります。

また、個別検診の対象者をこれまでの２０歳から４０歳の５歳間隔から２０歳、６９歳までに拡大いたします。併せて乳がん検診の個別検診対象者を４０歳から６０歳の５歳間隔から４０歳から６９歳に拡大いたします。

いずれも女性の健康を守る一手段としまして、受診しやすい環境を整え、受診率向上につなげたいと考えております。

続きまして、同じく概要版５ページの新型コロナ予防接種でございますが、当該接種につきましては、令和６年度より定期接種となり、令和５年度の実績から６５歳以上の高齢者の６割に当たる５，６２０人を見込み、９月補正にて予算計上したところでございます。

しかし、接種者が見込み数を大きく下回っていることから、令和６年度実績見込みを２，３００人程度とし、３月補正にて減額補正したところでございます。

令和７年度につきましては、対象者数を９，３６５人、接種者を２，０００人と見込みまして計上しております。

接種費用に関しましては、１人当たり１万５，３００円に対し、自己負担は３，０００円で、負担率は約２０％となっております。

令和７年度は、国による１人当たり８，３００円の新型コロナ定期接種ワクチン確保事業費補助金がなくなる見込みであるため、市の負担につきましては、１人当たり１万２，３００円。負担率は約８０％となります。

今後の見通しでございますが、定期接種になったこともございますし、本人負担が発生することと、危機感が随分薄れてきているところがございますので、接種率の伸びはなかなか難しいところがございますが、いろいろな方法で周知は図ってまいりたいと考えております。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　それでは、２点についてお答えいたします。

校内教育支援センターにつきましては、学校内での学習拠点設置整備を提供することで、不登校からの学校復帰の段階にある児童・生徒や不登校の兆候が見られる児童・生徒が早期において学校内で安心して学習できることや、相談支援を受けることが可能とするものを考えております。

今まで保健室登校というのも何名か当然ありましたが、そちらも状態によっては校内教育支援センターに移ってもらったり、あとは子供の状態にも心身の状態などもありますので、そちらは保健室で対応したりということで、臨機応変に対応するべきだと考えております。

また、小学校につきましては、先ほども答弁いたしましたとおり、将来的には設置を考えていかなければならないと考えております。現段階では、不登校の多い中学校から対応してまい

りたいと考えております。

特に、先ほども言いましたが、中学校の不登校理由が学校生活への気力低下、それから学業不振、あと不安等というのが比較的多い状況となっております。そういったものを踏まえながら、校内教育支援センターで相談に乗りながら個別学習を進めていくことが必要と判断し、設置するものであります。

また、センター長につきましては、名称が校内教育支援センターとはなっておりますが、学校内に設置するものでありますので、基本的には校長先生がセンター長になっていくのかと考えております。

もう１点が、無償配付ランドセルでございますね。こちらにつきましては小堀議員の６月の定例会での一般質問でも回答させていただきましたが、ランドセルにつきましては、重さ、それから経済的負担が問題になっているというのが大きな要因であります。

ただ、私のほうでも少し調べさせていただいたのですが、ランドセルにつきましては、近年軽量化が大分進んでおります。実は重さというのは中のもの、教科書、タブレット、この重さが重要です。そのために、学校で、必要なものだけを持って帰るなどというような対策が必要と考えております。

経済的な負担なのですが、こちらにつきましても、先ほどの６万円というのは平均価格なのですが、大分安いものも出てきております。それで、市としましては就学援助で入学金を、５万６０円ですか、を支援しておりますので、そちらで今は対応していると。

ただ、近年、ランドセルではなく、リュック等というのも使用されているケースがあります。こちらは、実はランドセルというのは義務化されているものではありませんので、本市としましても、必ずランドセルというわけではないのですが、ランドセルが多いという形になっております。

市貝町も併用を認めているというような状況となっておりますため、今後もう少し研究していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　私から、生涯学習課関係２点をお答えしたいと思います。

まず、図書館の年度の運営目標についてですが、誰もが読書に親しむことができる環境づくりを目指してまいります。

幅広い資料の収集、話題作や受賞作、参考資料などの資料を収集することはもちろん、特に大型活字本や洋書、展示資料といった読書バリアフリーに対応できる資料の収集、提供を重点的に行ってまいりたいと考えております。

洋書や展示資料の利用者はもちろん、一般の利用者が読書バリアフリーを知る機会を、これをもって提供することもしていけると考えております。

続きまして、長者ヶ平の関係、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費に関しまして、御質問が看板の関係になります。看板につきましては、令和６年度、令和７年度、市内の文化財に関わる現状調査を実施しております。令和６年度は南那須地区を実施いたしました。令和７年度に烏山地区を実施する予定になっております。こちらの中で看板の整備計画を見直してまいり、今後国庫補助等の活用を検討しながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久）　　星商工観光課長。

○商工観光課長（星　貴浩）　　それでは、私からは、雇用対策事業の部分及び商工総務費のなすからブランド認証費についてお答えさせていただきます。

まず、雇用対策事業につきましては、馬頭高校の生徒が本市企業にたくさん就職していただけたということを大変私もうれしく思います。

実は昨年の３月に、那須烏山市、那珂川町、ハローワークで連携しまして、馬頭高校で実は企業の説明会をしております。そういったものが、もしかしたらこれにつながっているのかなと思っておりまして、うれしく思っております。

今年度の予算につきましては、企業の魅力発信事業としまして、令和５年と令和６年に、実は企業にインタビューをしまして動画を撮っています。代表者ですとか、あるいはそこで働いている若い方のインタビューの動画を撮っておりまして、それをユーチューブで現在公開しております。

それを今度は紙ベース、リーフレットにして、皆さんの目に届くようにしたいというのが令和７年度の事業でございます。こちらは、高校をやはり中心に配布していきたいと思っておりますので、今はユーチューブを自分で見にいかないとなかなか見られませんが、今度は学校にそれを置かせていただきますので、手軽にそういった企業の魅力ですとか働きやすさ、そういったものを見ていただけるかなと思います。

また、予算計上はございませんが、先ほど私が紹介させていただいた昨年、馬頭高校でやった説明会のようなものは、実は令和６年度もやろうと思っておりまして、学校と実は日程調整をずっとしておりました。しかし、なかなか学校のスケジュールが合わなくて、実施に至っておりません。

令和７年度についても、学校には既に話をしてありまして、スケジュールがまだ調整できませんので、実施等はまだ決定してはおりませんが、学校とは常にそういった情報を共有したいと思っております。

それと、なすからブランドの部分です。まず、こちらのバージョンアップと目標でございます。なすからブランドの推進に関しましては、実は私どもで地域おこし協力隊の募集に際しまして、なすからブランドを取り上げていただけませんかというお願いをさせていただいております。ですので、今後採用される地域おこし協力隊におかれましては、なすからブランドに絡んだ、何かそれをＰＲするような活動をしていただけるのではないかと考えてございます。

それと、現在の認証品につきましては食品がどうしても多くございます。これを工芸品ですとか工業製品などが加わるように、いろいろなバージョンを増やしていきたいと思ってございます。

そのようなことがございまして、目標としましては認証品、現在、もともと２３物品認証して、現在残っているのは２１なのですけれども、約１５０％の３０品目を令和７年度の認証の目標としていきたいと思っております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　私から最後に、概要版８ページの新規就農についてお答えしたいと思います。

新規就農者の人数でございます。こちらにつきましては、国の助成金を活用して取り組む者が３名、親元就農して農業施設の整備等を行う者が１名、そしてまた親元就農される人を予定した祝い金を２名として事業化しているものでございます。

御質問の定着率につきましては、ほぼほぼ１００％でございます。

特に国の事業を活用した方は、親元就農とは別に、自分で独立した農業経営をやらなくてはなりませんので相当な高い意識を持ってやってございます。

また、成功者の言葉を使った状況ということであれば、親元就農者であれば、親から引き継いだ農地をさらに拡大しているような方、また、国の助成金を使った方については、自分の計画どおりの農業経営が５年後できているような方を言うのではないかと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　９番小堀道和議員。

○９番（小堀道和）　　一通りいただきました。

お願いも含めて、結婚・出産、この質問はやはり少子、要するに子供が全然、減る一方だということの質問なので、新聞に活動が紹介されたので課長もやる気になっていると思うのですけれども、お願いは、今までと同じことだと駄目なので、あのアンケートの内容から本市独自のものを引っ張り出して、職員といろいろディスカッションして、そういう施策をぜひやってください。それがうまくいくと、僕が質問するとなんぼでもしゃべれるようになりますので、

お願いします。

健康診断の若い世代、これは婦人科など、そういう話があったのですけれども、全体的に若い方の健診の成果がまだまだうまくいっていないのだと職員も言っているので、今の課長の答弁のようなものを突破口にして、さらに取り組んでほしいのです。それで具体的に何％が、何％になったとぜひ数字で答えられるようにしてほしいと思いますので、よろしくお願いします。

新型コロナは分かりました。

それと小学校、中学校、この支援センター、これは不登校の問題だと思うのです。時間があれなので、僕が小学校校長をしているときに、やはり不登校は３日休んでしまうと４日目はやはり敷居が高くなって、そこで休んでしまうと、４日、５日となってしまうと、もう駄目なのです。そのときにいろいろな悩みがあって休んでいるわけなので、これはどれだけ手を差し伸べるかだけなのです、だけということはないのですけれども。

僕がやってきたのは、１日休んだら電話連絡、もちろん向こうからくるので、保護者が、２日休んだら担任の先生は行く。３日休んだら校長が一緒に行く、これは徹底してやりました。なので、何年かの僕の校長時代のときに、不登校が起きたのは１人だけだったと思うのです。でもこれがないと、やはり親も信頼してくれないです。

要するに、友達関係のいじめとか授業の問題とか、そういう悩みなので、それをどれだけ引っ張り上げてあげるかという、その不安なところをなくして、もう無理やり、我々が子供のときに不登校なんていうことはほとんどなかったですから。行かないと、もう先生から親からみんなにぶっぱたかれるわけですね、あれがいいか悪いかは別にしても、やはりみんなで支援するというのを、やはり校長の姿勢、教頭先生の姿勢で変わりますので、ぜひ、全部とは言わないのですけれども、教育長、ぜひよろしくお願いします。

それと、図書館運営、今のあれを見ていると、課長から説明をもらったのですれども、わくわく感が全然、残念ですけれども出てこないので、質問者は質問を投げかけておるのです。わくわくするようなあれを我々も考えるから、企業も考えてよと言えばできる実力を持っていますので、岩手の紫波中央、紫波町の図書館を紹介しましたけれども、本当に図書館から文化が変わるという、そういう事実がたくさんあるので、ぜひお願いします。前からお願いしている、図書館の運営の年度の目標、紙ベースのものでいいですから見せてください。お願いします。

それと長者ヶ平、これやってよ、あそこを通るたびに恥ずかしくなるのです。だって、このぐらいの大きさですよ。ぜひ早急にお願いします。

それと、ランドセル、これは５万円云々というよりもたくさん、親、あと、おじいちゃん、おばあちゃんは、新１年生のための出費は多いのです。これを無償で配付する、または１万

４，５００円のものをやるといったら、丸々それ以外のお金を使えるわけですから、５万円でしたか、５万円だから問題ねえだろうというのではなくて、ぜひ検討してほしいのです。これはコメントがあったらもらいたいけれども、時間がないか。

それと、商工観光課のこの２つはうまくいっているなという感じなのでぜひレベルアップしてほしいのと、やはり就職関係は馬頭高校とか、茨城のほうでもやったらどうかなというのを思いました。

それとやって、うまくいっていると何ぼでもしゃべるよね、課長の説明にそういうふうにぜひなってほしいなと思います。

○議長（青木敏久）　　ここで暫時休憩いたします。

再開を１４時１５分とします。

休憩　午後　２時０３分

再開　午後　２時１５分

○議長（青木敏久）　　休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで午前中に行われました堀江清一議員の総括質疑に関し、執行部より追加答弁がございます。

佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　追加答弁をさせていただきます。

烏山駅前のジェイアールバス関東の用地費でございます。６，１５７万１，４７７円でございます。こちらが用地費になります。

続きまして、整備費でございます。平成２７年、平成２８年の２か年で実施しております。平成２７年におきましてはフェンス工事を実施しておりまして、８３９万１，０００円でございます。

平成２８年の整備費でございます。７，０８３万２，０００円でございます。

以上でございます。よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　ほかに質疑はございませんか。

１０番相馬正典議員。

○１０番（相馬正典）　　それでは、私から、１４件通告したのですけれども、今まで同僚議員がいろいろ聞いておりますので、それを外しまして、９項目について伺いたいと思います。

まず、なすからこども園の運営費は分かりました。

次の学校給食センターについても、いろいろ答弁をいただきましたが、一応要望だけしておきたいのですけれども、これ去年から続きまして、次年度もやるということですので、給食費

無料化になるまで、ぜひ続けていただきたいと思います。

次の、新型コロナも分かりました。

学習指導、スーパーティーチャーの事業の中止も分かりました。

６ページの中学生派遣事業について、事業内容は分かりましたが、行く日数だけ教えてください。

次、７ページのユネスコ無形文化遺産保存事業費７７３万８，０００円を烏山山あげ保存会へ助成しておりますけれども、その辺について詳細を教えてください。

Ｊアラートは分かりました。

概要版の１４ページ、障がい者福祉タクシー事業費及び高齢者福祉タクシー事業費にタクシーが２つ事業ありますけれども、それぞれの事業内容について伺いたいと思います。

２１ページ、財政調整基金であります。

まず、概要版によりますと、今年度の減が、財政調整基金が６億３，８００円云々となっておりまして、予算書によりますと６億４，１００万円となっていますが、この違いはどうしてなのかを少し疑問に思ったので教えてください。

また、主なもので結構ですので、充当先が分かれば教えていただきたいと思います。

予算書です。

３１ページに企業版ふるさと応援寄附金とあるのですけれども、次年度の見込みが、はっきりしないのですが、予算化されているのかどうか、見込みについて伺いたいと思います。

同じく予算書の３３ページ、栃木県市町村振興協会市町村交付金ということで、６００万円ほど入るようになっていますけれども、この内容についてお願いしたいと思います。これは毎年いただいているものではないのではないかと思うのですけれども、その辺についてお願いいたします。

４７ページの犯罪被害者支援事業は分かりました。

５９ページに私立保育施設運営委託事業費、４億３，５００万円余があります。概要で結構ですので、概要を教えてください。

それから１１３ページにコミュニティーバス馬頭烏山線運行負担金とあります。負担金が５９５万８，０００円ですが、昨年度の本市の負担額より２４２万３，０００円ほど増加しているようですけれども、これの理由について伺いたいと思います。

以上９項目、よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　中学生海外派遣事業の日程ですが、今、予算上は７泊８日で取っております。

ただ航空運賃が大分上がっているという話も聞いていますので、調整も必要かとは考えております。予算上は一応７泊８日で取っております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　私からユネスコ無形文化遺産保存事業費についてお答えします。

烏山山あげ保存会への助成については、烏山の山あげ行事保存伝承費補助金で７２０万円を交付しております。烏山の山あげ行事の保存伝承を継承するための活動費として、育成指導及び記録保存に要する経費が対象となっております。

具体の内容としましては、行事を担う当番町の祭典費、そのほかに烏山高校等の体験学習などの人材育成、後継者育成の指導に関する事業費の経費に対して助成を行ってきております。

また、無形民俗文化財保存伝承費補助金としまして、３９万８，０００円、こちらについては、内容としては令和８年度に烏山の山あげ行事を担う鍛冶町自治会が所有する山あげ道具類の修理の補助になります。

そのほかに、こちらについては、全国山・鉾・屋台保存連合会に関する必要経費の１４万円が計上されまして、合計額が７７３万８，０００円となっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡　誠）　　続きまして、概要版１４ページ、障がい者福祉タクシー事業費、高齢者福祉タクシー事業費について御説明申し上げます。

まず、概要でございますが、在宅の障害者及び高齢者の交通の便を確保するため、タクシー乗車料金の一部を助成する制度となっております。

障がい者福祉タクシー事業の適用条件でございますが、身体障害者手帳１級または２級所持の方、または療育手帳Ａ１、Ａ２、または精神障害者保健福祉手帳１級所持の方となっております。

高齢者福祉タクシー事業の適用条件としましては、次の全ての要件に該当する方となっていまして、１つ目としまして、利用者が７５歳以上であって、独居または高齢者のみの世帯。２つ目としまして、市県民税非課税世帯の方。３つ目としまして、敷地内及び隣接敷地内に移動手段を支援できる家族がいないこと。４つ目としまして、世帯で自家用自動車の所有がないこと。５つ目としまして、ほかの外出サービスの利用がないこととなっております。

助成内容としましては、タクシー券１枚につき５００円となりまして、障害者、高齢者ともに月６枚、年間７２枚までとなっております。

障害者のうち、透析治療を受けている方につきましては月１２枚、年間１４４枚までとなっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　　私から３点ほどお答えいたします。

まず、概要書２１ページ、財政調整基金６億３，８３２万８，０００円の減額についてお答えします。

こちらは、予算書の４１ページの財政調整基金積立金、２６７万２，０００円と合わせまして、予算書３１ページの財政調整基金繰入金として一般会計に繰入れているものでございます。

財源の不足額に充てるための一般会計の繰入金となっておりますので、充当先は一般財源になってしまうので、特にここだというところはない、特定財源以外のものに使われるものになってきます。

次に、企業版ふるさと応援寄附金、予算書３１ページになります。

こちらについては、例年当初予算では科目存置として１，０００円計上させていただいております。寄附額確定後に補正予算で対応していくこととなっております。

令和７年には、特に市の推進する重点事業、市街地再生や清水川せせらぎ公園整備に賛同してくれる企業からの寄附獲得を目指してまいりたいと考えております。

次に、予算書３３ページ、栃木県市町村振興協会市町村交付金、こちらは宝くじ利益の配分金となっております。市町が実施する公共事業もしくは公益の増進を目的とする事業に要するため、市町村振興くじの交付金となっております。入りました金額につきましては、図書館運営費に充当しているところでございます。これは今年度も昨年度もあったお金になっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　水上こども課長。

○こども課長（水上和明）　　それでは、私からは予算書５９ページ、私立保育園施設運営委託事業費の内容について、御説明いたします。

これは子ども・子育て支援制度に基づきまして、市内の私立特定教育・保育施設への施設型給付費、また、地域型保育給付費になります。現在、市内の私立保育施設は、合計で１０園ございますが、そのうち、認可外保育事業所を除く８園が、本予算の対象施設となっております。

施設型給付費等は、子供の保育に必要な費用として施設に給付されるもので、その費用は国が定める公定価格により算出されます。

給付費については、施設が法定代理受領する仕組みとなっているため、施設へ給付すること

になっております。令和７年度は、令和６年１０月時点の園児の数を基に算出してございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫）　　コミュニティーバス馬頭烏山線運行負担金についての御質問ですけれども、こちらは栃木県の補助金の見直しがありまして、それによりまして市・町の負担が増えたということでございます。

通常、運賃収入から運行経費を引いて欠損額が出ますけれども、それの欠損額に対する補助金の考え方が、県が変わりまして、市・町の負担が増えたということでございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　１０番相馬正典議員。

○１０番（相馬正典）　　２番目が抜けていまして、何年度までかというのですが、この給食費補助の２，０００円が今後どうなっていくのか説明を願います。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　大変申し訳ありませんでした。

食材高騰対策の交付金につきましては、令和４年度より実施しておりまして、令和７年度も継続するものであります。

交付金の金額につきましては年々上昇しており、財政負担も大きくなっております。現在は本市といたしましては、国の地方創生の交付金を活用して対応している状況であります。

今後は国の状況を注視いたしまして、もし、一般財源となってしまう場合は、財政状況等を勘案しながら検討してまいりたいと考えておりますので、今、何年度ということはお答えできませんので、申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　　１０番相馬正典議員。

○１０番（相馬正典）　　分かりました。

では、再質問させていただきますが、今ほどの給食費の補助については臨時交付金がなくなった後もできるだけ継続して続けていっていただきたいなと思いますので、要望しておきます。

それと、ユネスコの無形文化遺産の山あげ保存会に対する７７０万円云々なのですが、先ほどの答弁の中に当番町への祭典費の補助だというのが聞こえたのですけれども、その金額が分かれば。あと山あげ保存会の運営費は、どういうふうになっているのか教えていただきたいと思うのです。

それから、障害者等の福祉タクシーの件は分かりました。

まず、財政調整基金なのですけれども、広く一般にばっと出ているのだということなのですけれども、変な話、一番項目が出ているということを、比較したことはないですかという質問。

それから、ふるさと納税は分かりました。

図書館運営費、栃木県市町村振興協会も分かりました。

私立保育園も、５９の私立保育園の補助なのですけれども、金額、各園、８園に補助をするということですけれども、このお金の使用目的とか使用用途が分かれば教えていただきたいと思います。

以上です。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　私から、先ほどの再質問で祭典費について幾らぐらいかということと、保存会の運営費ということで、御質問がありました件についてお答えしたいと思います。

まず、祭典費が幾らぐらいになるかなのですが、そちらについては、山あげ保存会の事務の中でありまして、その中の祭典費、ちょっと確認させていただきます。

山あげ保存会全体の運営費につきましては、今年度の総額、すみません、令和６年度の数字しかないのですけれども、令和６年度の総事業費としまして２，８３５万円の予算組みをしております。

そのうちの保存会の祭典費につきましては、すみません、確認しまして答弁させていただきます。

○議長（青木敏久）　　小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　　財政調整基金につきましては、財源の不足額に充てている一般会計の繰入金であるため、特にどこに入れているという比較はしたことはございません。

○議長（青木敏久）　　水上こども課長。

○こども課長（水上和明）　　お答えいたします。

そもそも保育所などの運営にかかる費用は、保護者からの保育料だけでは不足してしまうということで、その不足分を補うための財政支援で行っているものでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１０番相馬正典議員。

○１０番（相馬正典）　　では了解はしました。

だけれども、先ほどのユネスコのところをもう一度、生涯学習課長、後でいいので教えてください。

以上です。

○議長（青木敏久）　　ほかに質問ございませんか。

１１番田島信二議員。

○１１番（田島信二）　　では何点か質問いたします。

地籍調査事業負担金、園芸振興事業費と鳥獣被害、これ３点は抜きます。

予算書より全部質問します。

７１ページ。塩那台総合農地開発事業費１，０５０万円の内容について伺います。

辺地道路整備事業費、８，０２０万円の内容をお願いします。

８３ページ、大桶運動公園管理費、８９５万４，０００円の内容について。

大桶運動公園整備費６４万円の内容について。

各市立小学校、中学校の教育振興費、内容について伺います。また、各学校より金額の違いについても伺います。

９７ページ、農地・農業用施設災害復旧事業費、１００万円、内容について。

１１７ページ、大松・富谷・八溝大橋維持管理費負担金１５万円、これはすごく減額となっていますが、その理由をお願いします。

那須烏山市スポーツ協会補助金、４２０万円。内容について伺います。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　田島議員、２５ページの地籍調査事業負担金については、よろしいですか、答えていないかなと思ったので。

○議長（青木敏久）　　田島議員、答弁いただきますか。

○都市建設課長（佐藤光明）　　歳入のほうなので別かなと思ったのですが、よろしいですか。

○１１番（田島信二）　　いいです、それで。

○都市建設課長（佐藤光明）　　分かりました。それでは、予算書８１ページの辺地道路整備事業費８，０２０万円についてお答えをいたします。

辺地道路整備につきましては、辺地対策事業債を活用して事業を推進しておりまして、２路線実施をしております。１つが田野倉曲畑線、もう一つが下川井柏崎線の２路線を継続で実施しておりまして、令和７年度におきましても、この２路線を継続で工事を実施する予定でございます。

次に、予算書１１７ページ。大松・富谷・八溝大橋の維持管理負担金１５万円についてお答えをいたします。

令和６年度におきましては、この３橋の橋梁点検、那珂川町が維持管理ということで、那珂川町におきまして橋梁点検を実施しました。その経費としまして、６４万円を計上したため、７８万３，０００円となっておりましたが、令和７年度におきましては、それが終了したことにより、通年ベースの維持管理費に戻ったということで減になり、１５万円の計上となってお

ります。

よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　私からは２点、お答え申し上げます。

まず、予算書７１ページの、塩那台総合農地開発事業費でございます。

こちらにつきましては、国営事業により造成されました塩那台地の頭首工、揚排水機場の管理、さらには、この土地改良区における管理体制の運営費を支援するものの事業費となってございます。

まず、補助金としまして、この管理運営に対する電気代、人件費、また、施設維持等に関する補助ということで、２９２万6,０００円を計上してございます。

また、基幹水利の施設、大田原市の福原にある揚水機場でございますけれども、そちらの修繕等に関わる基幹水利施設維持管理費の負担金、建設事業費負担金になりますけれども、７５７万4,０００円を計上して、合わせて1,０５０万円の事業費となっているところでございます。

９７ページの、農地・農業用施設災害復旧事業費の１００万円でございます。

こちらにつきましては、国の災害復旧事業に該当しない災害、総事業費で４０万円未満の事業を該当とするものでございますけれども、それの市単独分の災害復旧事業費として５０万円、さらに農道等の修繕料として５０万円、合わせて１００万円を計上したものでございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　私から、生涯学習課関係を３点お答えしたいと思います。

まず、初めに大桶運動公園管理費、８９５万4,０００円の内訳について、こちらは大桶運動公園の維持管理に関する費用になりまして、主なものは、芝管理業務の委託料、６６３万7,０００円。光熱水費、８０万4,０００円となっております。

次に、大桶運動公園整備費、６４万円。こちらにつきましては、公園使用上注意看板１基を設置する費用になっております。管理棟西側通路付近に設置予定としております。

那須烏山市スポーツ協会補助金、４２０万円。こちらにつきましては、那須烏山市スポーツ協会運営に関わる費用になっております。加盟団体補助金、県民スポーツ大会、スポーツ少年団助成金、郡市町駅伝大会の助成金が主な内容になっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　私からは、各小中学校の教育振興費についてお答えいたしま

す。

教育振興費につきましては、行事用の消耗品、校外学習や各種大会等のバスの運行経費、学校図書購入費、就学援助費等が含まれております。児童数や対象者数の違いにより金額が違っております。

なお、新規といたしまして、スポットクーラー、大型扇風機などもこちらに含まれております。大きなものといたしましては、校外学習用社会科見学等のバスの委託、こちらと就学援助費、この２点が特に大きな経費となっております。

中学校につきましても、同様であります。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１１番田島信二議員。

○１１番（田島信二）　　以上で終わります。ありがとうございました。

○議長（青木敏久）　　ほかにございませんか。

１２番渋井由放議員。

○１２番（渋井由放）　　それでは、お願いします。予算総括質疑で事前にお願いをしてある部分について、まず、歳入の２８ページから２９ページにかけて、利子及び配当金ということがございます。これは、前年度４２１万4,０００円から本年度1,５２９万3,０００円、1,１０７万9,０００円と、大幅増になっております。私、個人的にはもっとできるはずだと思っているのですが、どのようなことで、こういうふうに増えているのかということ。

次は、歳入歳出両方でもって教育関係を一緒にやりたいと思うのです。２２、２３ページの教育費国庫補助金、これが、4,４８０万1,０００円、大幅増。

２６、２７ページの教育費県補助金、これも、３９３万8,０００円という大幅に増。

そして今度は、８６、８７ページになるのですが、教育情報ネットワーク整備事業費、これが1億3,８７５万8,０００円。

８８から８９ページの教育振興費、これは、前年度4,２１４万7,０００円のところ、半減して2,２０６万6,０００円となり、この辺の教育費を一括で御説明いただければと思うのです。

続いて、総務費県補助金が２４、２５ページにあるのですが、これは、前年度が1,７８０万7,０００円で、今年は約倍増で1,７３６万4,０００円増えて3,５１７万1,０００円、どうしてこれこんなに増えたのかなと思うのです。

続きまして、市債を発行して収入を得るわけなのですが、市債に関して、充当率とか措置率とか、３４ページから３７ページにわたって出ているのですが、その辺の御説明をお願いしたいと思います。

４０、４１ページ広報費。広報費は、これも約倍増しているのかなと思うのです。これをやることによって、もちろんいいことがあるから広告費をかけるということなのですが、どんなようなことが考えられるか、そういうのも含めて御説明いただければなと思うのです。

次は基幹統計調査費、これは新たに国勢調査をやるわけです。どのような方法でやっていくのか、詳細が分かれば教えていただきたいと思います。

続きまして、５０、５１ページに参議院議員選挙があり、５２、５３ページに栃木県知事選挙がありました。そうすると、栃木県知事選挙も参議院選挙の期間も１７日間で同じ期間なのです。そうすると、これから差を見ると、３００万円ぐらい今年度やる参議院選のほうが多いと。これは当然国、県がくれるものなので、これについてああだこうだと言うことはないのですが、１年で３００万円上がったとすれば、そこに関わる人が、いろいろな費用がかかっているのだろうなあと、そういう中で、例えば、期日前投票に立ち会う人とか、職員の給料が上がっているのは分かっているのですが、そういうところまで、しっかりこういうのがいっているのかどうか、職員は上がっています。一般の市民を頼むと上がっていませんというようなことなのかどうか、その辺のところをお示しいただければなというか、分かればでいいのですが。

次に、高齢者福祉費５４、５５ページにあるのですが、老人クラブ活動支援事業費１２０万円ですが、老人クラブの組織数と会員数、また、これが、年々増えているのか減っているのか、横ばいなのか、その辺を含めて教えていただければなと思います。

６２、６３ページに扶助費がありまして、生活保護扶助費２億３，６３５万６，０００円。何家族というのですか、何人というのですか、どの辺の数がいらっしゃるのか、また、これも将来的に増えるのか減るのか。その辺を教えていただければなと思います。

以上です。

○議長（青木敏久）　　髙田会計管理者兼会計課長。

○会計課長（髙田　勝）　　予算書２８ページの、利子及び配当金の利子が多くなってくるのはよいが、もっと増やすことは可能かということにお答えいたします。

こちらは、一般会計の基金の利子となっています。利率が昨年の３月ぐらいから比べて、その時点では定期預金が０．００２％程度だったものが、今現在１．４％と、全く違う次元の、利率が上がっているという状況でございます。

そんな中で、夏頃にも、また日銀のほうで利上げをするような話も出ておりまして、また、利上げの傾向が見られます。ですので、預金の時期がうまく当たれば利子が増えていくという方法が１つ考えられます。

それともう一つは、普通の定期預金ですとやはり利率が債券よりは低いので０．１％ぐらい乗るものですから、地方債のほうで大分稼げるのかなと考えています。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　私のほうは歳入が２件、歳出が２点についてお答えします。

まず、教育費の国庫補助金の増額につきましては、小中学校、公立学校情報機器整備費の補助金の増額が大きな要因となっております。

これは令和２年度に整備いたしました、児童・生徒１人１台の学習用端末の更新を行うための補助金となっております。小学校が８４７台。中学校は５１７台。合計１，３６４台で、５，００１万３，０００円の増となっております。なお、１台当たり、５万５，０００円、補助率が３分の２となっております。

そのほかは微増とか、微減という形になっております。

続きまして、教育費の県補助金の増につきましては、教育支援体制整備補助金の増が大きな要因になっております。

これは、講師、それから生活支援員等、学校に関わる講師や生活支援員等の経費に係る補助金でございます。

小学校が５名分、中学校が３名分、それで合計３９４万８，０００円の増となっております。

令和６年度につきましては、９月の定例会の補正予算で計上しておりますので、当初予算が大幅に増額となっております。補助率につきましては、時給１，０００円、週３日を上限とされておりまして、補助率が３分の２という形になっております。

続きまして、教育情報ネットワーク整備事業の事業概要について御説明いたします。

先ほど歳入で一部説明いたしましたが、大きいものとしましては、学校教育ネットワークシステムの保守に２５６万円。学校ＩＴＣの支援８８万円。学校教育ネットワークのサーバー機器のリースが１，２８５万円、校務ＰＣのリース料１，５２３万３，０００円であります。

また、先ほど説明いたしましたＰＣの更新費用及び、そちらの中に入れるアプリの更新費用として、合計で１億４，３３８万円。それから、デジタル採点システム、リーバーの利用で９２万７，０００円などが大きな要因となっております。

最後に、小学校費、教育振興費の大幅な減の理由について御説明します。

小学校の教育振興費の減につきましては、改訂版小学校教科書指導書消耗品、こちらが２，０３１万３，０００円の減が大きな要因、教科書は４年ごとに改訂されますので、令和６年が改訂時期だったために令和７年は減額となっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　　私からは４点ほどお答えさせていただきます。

まず、予算書２４ページ、総務費県補助金について、大幅に増えた理由でございます。

こちらは、まず、１つ目は市町村生活交通路線運行費補助金でございます。

県の補助金の見直しに伴いまして、これまで補助の対象とならなかった市営バス烏山高部線及びデマンド交通について、補助の要件を満たすこととなったことから５９７万７,０００円を増額計上したところでございます。

２つ目は、わがまちつながり構築事業費補助金でございます。

こちらは、山あげ祭実行委員会への交付金について、当該補助金に該当することから、当該事業に対する補助金３００万円を計上したところでございます。

３つ目は、空き家対策総合支援事業補助金でございます。

予算書８３ページの空家対策事業費において、空き家等実態調査業務を１,２１０万円計上していることから、当該事業に対する補助金６００万円を計上したところでございます。主な増額要因が以上でございます。

次に、予算書の３４ページ、市債についてお答えいたします。

まず、予算書３５ページの児童福祉費の認定こども園整備事業債。こちらは、こども・子育て支援事業債という起債を活用しております。充当率が９０％、交付税措置率は５０％となります。

次に、保健衛生費、地域医療確保事業債につきまして、こちらは、過疎対策事業債を活用しております。充当率が１００％、交付税措置率は７０％となっております。

次の水道事業会計出資債、こちらは水道事業債の一般会計出資債というのを活用しておりまして、充当率１００％、交付税率５０％となっております。

次に、予算書３７ページです。農業用ため池整備事業債。こちらは公共事業債を活用しております。充当率が９０％、交付税措置率は２０％となっております。

次が観光施設整備事業債。こちらは、過疎対策事業債を活用しております。充当率１００％交付税措置率７０％となっております。

次の市道整備事業債につきましては、まず、市道の道路整備につきましては、合併特例債を活用しております。充当率９５％、交付税措置率７０％となっております。

市道の道路保全につきましては、緊急自然災害防止対策事業債を活用しております。充当率１００％、交付税措置率７０％となっております。

次に、橋梁に関しましては、過疎対策事業債を活用しています。充当率１００％、交付税措置率７０％。

次に、辺地対策事業債、こちらにつきましては、辺地対策事業債を活用しまして、充当率が１００％、交付税措置率が８０％ということです。

次の都市計画街路整備事業債につきましては、こちらも過疎対策事業債を活用しております。充当率１００％、交付税措置率７０％。

次の一般公園整備事業債、こちらにつきましては、合併特例債を活用しております。充当率９５％、交付税措置率７０％。

次に集団移転事業債、こちらにつきましては、一般補助施設整備等事業債を活用しております。充当率が９０％、交付税措置率は８０％となります。

次に、消防施設整備事業債ですが、こちらは、まず火の見やぐらの解体につきましては、過疎対策事業債を活用する予定です。こちらは充当率１００％、交付税措置率７０％。

次に、Ｊアラートの自動起動後の改修につきましては、防災対策事業債を活用予定で、充当率が７５％、交付税措置率が３０％。

次に、Ｊアラートの県負担金とアンテナ工事につきましては、緊急防災・減災事業債、充当率１００％、交付税措置率７０％を活用する予定となっております。

続きまして、予算書の４０ページ、広報費が大幅に増えた理由について御説明いたします。

広報費につきましては、５つの事業がございますが、大きく影響していますのは新規事業となる、なすからＳＮＳ管理運営費となります。こちらにつきましては、ＬＩＮＥの公式アカウントの機能を拡張するライン拡張ツールの導入により、セグメント配信や、申込みや予約機能、さらには電子決済が可能となるものを導入する予定となっております。

費用対効果を考えますと、まず、セグメント配信につきましては、年齢性別など属性に基づいて情報発信することで、市民が関心を持つ情報を受け取るための、情報の受診率の向上が期待できるところでございます。

拡張機能の効果としましては、住民票や戸籍、税証明の発行申請などの行政手続をＬＩＮＥ上で完結することができ、市民の利便性の向上が図られます。

また、紙ベースの通知等の削減やオンライン化などによりまして、職員の負担軽減や業務の効率化が図られると考えます。

これらの機能を活用することによりまして、市民サービスの質の向上をさせるとともに、コスト削減や業務効率化を実現させることができることから、費用対効果は高いものだと考えております。

最後に予算書５２ページ、基幹統計調査、国勢調査はどのような方法で行うかというものについてお答えいたします。

国や地域ごとの人口や世帯の状況等を把握するために行う調査でございまして、令和７年１０月１日を基準日としまして、市内全域にて世帯、個人について、世帯構成や住居の状況などについて調査を実施するものでございます。

調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布いたします。調査対象者の方は、回答方法が３つ予定されておりまして、調査員による調査票の回収、または調査票を郵送で回答するもの。インターネットでの回答の３パターンがあります。

集めた調査票について間違いがないかを確認した後、総務省に集められまして、データ集計され、その後公表されるものとなっております。

以上が概要となります。

○議長（青木敏久）　　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　　５０ページから５２ページ、参議院選挙の費用と栃木県知事選挙の費用の違いの点についてでございますが、告示期間は、議員がおっしゃるとおり、１７日間でやっておりますので、その期間は影響がないのですが、栃木県知事と参議院選挙、大きく違うのは、投票用紙が２枚あるところ、ポスター掲示場の区画が大幅に多いということ。それに伴って、ここの物価高騰、人件費の高騰で、それらの設置、撤去または折り込み代等の業務委託料が非常に上がっているということも要因の１つでございます。

また、人件費につきましても、人勧に示されたとおり、時間外単価が上がっておりますので、その影響もやはりあります。ただ、執行経費の見直しについてはまだ示されておりませんので、現段階の執行経費で組んでおりますので、知事選と同じ費用で立会人報酬等は組んでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡　誠）　　それでは、健康福祉課で２点ほどお答えさせていただきます。

まず、５４ページ、高齢者福祉費、老人クラブ活動支援事業費でございますが、こちらの会員の推移でございますが、令和４年度３月３１日末現在ですと、クラブが２４、会員数が１,１６６人。令和５年度がクラブが２１、会員数が１,０５３人。令和６年度の見込みですが、クラブが２１、会員数が１,００６人になります。

続きまして、６３ページ、扶助費、生活保護扶助費でございますが、こちらは令和６年１月１日時点が、世帯数が１２７世帯の１５８人。令和７年１月１日時点が、世帯数が１３０世帯、人数が１６５人となっております。ちなみに、過去の記憶なのですが、平成１７年合併時ですが、世帯数としては１２０世帯弱だったと記憶しております。人数も１６０人弱だったと記憶しております。ですので、全体としましては横ばいではございますが、途中景気によって左右するところがございますので、将来的な見通しは立たないところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１２番渋井由放議員。

○１２番（渋井由放）　　もう時間がなくなっておりますが、再質問を少しさせていただきたいと思います。

利子及び配当金ですが、一生懸命有利な、先ほど市債も言いましたが、有利な財源をもってやっているので、お金を運用するのも同じなのですよね。今までずっと、議員があだこうださんざん騒いだから地方債もやろうかとか、そういうふうに一歩前進したのではないかと私は勝手に思っているところなのです。

先ほどもおっしゃったように、着実に将来上がるのであろうというようなことで、地方債も４月のときと２月のときでは全然違ってきていますので、あとこれ全体を見て、例えばですが、持っているお金を十分割にして、１０年債を１年ずつ買っていって毎年回せば、平均的な利息が出るとか、５年債だったら５で割ってというような、そういう先々の、今すぐ云々ではなくて先々の戦略も組んでいただいて、ぜひ、上手にやれるようにお願いをしたいと思います。

学校教育はタブレットが新しくなりますよということで、教科書は無償化だという話があるのですが、電子教科書というのですか、何か、そのようなものについては、今、無償化ではないのでしたか、無償化になりましたか。その辺、こういう中には入っているのか、入っていないのかということです。

もしかすると、厳しい世界になるかもしれないので、扶助費、生活保護扶助費、そういうのをしっかり対応できるように、お願いをして、これはお願いするだけなので対応をしていただきたいなということで、２回目の質問は終わります。

答弁をお願いします。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　デジタル教科書についてお答えいたします。

デジタル教科書につきましては、以前は購入をしておりましたが、最近は全てではないのですが、指導用教科書に附属としてついているケースもありますので、全部がというわけではありませんが、そこと一体的になっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１２番渋井由放議員。

○１２番（渋井由放）　　高校無償化とか教育無償化とか、学校給食費無償化などと、今、国会でいろいろやっておるようでございますので、そういうデジタル教科書無償化というか、そういう波も起こしてもらうように、発信してもらうようにお願いして、質問を以上で終わります。

○議長（青木敏久）　　ここで暫時休憩いたします。

再開を１５時２０分とします。

休憩　午後　３時０９分

再開　午後　３時２０分

○議長（青木敏久）　　休憩前に引き続き会議を開きます。

質疑はございませんか。

１４番中山五男議員。

○１４番（中山五男）　　それでは、通告に基づきまして、１０項目ほど質問申し上げます。

まず、市長宛てに質問１点申し上げます。市長には２期目の選挙公約に様々な事業を掲げまして、その実現に向けまして、この３年間、努力してまいったところであります。

今回の予算編成は２期目最後となったわけであります。そこで、公約実現に向けた事業予算となったのでしょうか。そこで、市長自らの満足度、どう満足しているか。これについてお伺いします。

次に、２点目は、副市長宛てに、私は人事管理についてお伺いをしたいと思います。副市長は全職員を統括する要であります。今回の予算の中に、人事管理費が１５０万円ほど、人材育成推進費に４８０万円ほど計上しているわけですが、これらの予算も含めまして、いかに指導育成されるお考えなのでしょうか。職員は与えられた業務に誇りと情熱を持って挑戦されているのかどうか。この職員の対応には不満を漏らす議員も少々いることからお伺いをするわけであります。

次に、教育長宛てに質問申し上げます。

今年の新年度予算、教育費１０款の予算は１２億８，２００万円余を執行するわけですが、これは内藤教育長が深く関わるわけであります。その中で、小中学生の学力向上、さらに不登校問題など、最重要な問題にいかなる覚悟を持って挑まれる考えかです。

もう１点、境小学校の予算が１３６万円ほど計上してあります。既に２年、３年、４年、５年が複式学級になっていまして、これが続いているわけなのですが、よその学校との統合時期についてお伺いをしたいと思います。これは教育長の考え、判断をお伺いするということです。

次に、合併２０周年記念に関することです。私は昨年９月の定例会一般質問の中で、那須烏山市は、これは去年質問をしたのですが、来年は合併２０周年になります。２０年といえば人間にとっても成人式を迎える年で重要な節目の年なのですが、それに合わせてどのような式典などの事業を考えていますかという質問をしましたが、あまり大した答弁ではなかったのです。

記念誌を作りますとか何とか言っていましたが、実際に私が質問をした立場で、今回のこの予算の中に、合併２０周年記念に関する予算が何か組まれているかと思って見たのですが、全

く見当たらないために質問をした次第であります。

先ほど同僚の質問もこれに少し触れていましたが、今のところありません。６月の補正で計上しますと言うのですが、６月に補正して、これいつ、満２０年は今年の１０月ですよね。どんなことをやるのか、計上されている予算では大した事業ができないのではないかと思っています。

私は毎年県内２５市町村の予算の状況が新聞報道されるものですから、くまなく見ているのですが、やはり２０周年の市町村はそれなりの事業費を取っています。去年の那珂川町も新聞報道の中には、合併２０周年関係予算として、今、額は忘れましたが、載っているわけです。なぜ那須烏山市はこの２０周年に対して重きを置いていないのか、残念です。

次、概要版の４ページに、なすからこども園の２，７３９万４，０００円。これは遊具だということなのですが、私のお伺いしたいのは、こども園が完成までの、これからこの遊具はこの見込みになりますが、これらも含めた総事業費とこの財源内訳です。一般財源が幾らあるのか、起債が幾らになるのか、補助金は幾らもらえたのかお伺いします。

次、予算概要の６ページ、学習用のタブレット更新で１億４３３万８，０００円を計上してあります。これは更新で、今度は２回目になるわけなのですが、これまでにタブレットを利用して授業に成果が上がったのでしょうか。しかし、今、これまで使った中でいろいろと管理上の課題があったのではないかと思いますが、その辺のところも併せてお伺いをしたいと思います。

次、予算概要の１３ページです。戸籍振り仮名対応業務で４６９万４，０００円を計上されています。これは面倒くさいことではないかと思っているのですが、どのような事業になるのか、具体的な説明を求めます。

次、１４ページに、地域包括支援センターの運営費として３，９５１万円ほどを補助することになっています。私は、包括センターというのは具体的にどんな仕事をしているのか、事業費の総額は幾らあるのか、そのうち３，９００万円の補助金になるのか、その内容等についてお伺いをいたします。

次に、同じ１４ページにスクールバスの運行費が載っています。今年は１億６，３４９万円です。学校別の乗車の人員と、もう一つは、毎年子供たちは変わってくるわけです。６年生、中学３年生は卒業し、新たに１年生、中学それぞれ１年生というのが加わってくるわけですから、今度は運行経路も変えるのが当然ではないかと思いますが、この辺のところは、どうやっているのでしょうか。

もう１つ、１９ページに、特別会計の繰出金です。合わせて１０億５，８２７万２，０００円です。一般会計総予算額の８％にも相当する額を、それぞれの特別会計に繰り出しをしている

わけなのです。この財源になる関係の補助金、交付金について、会計ごとにお伺いをしたいと思うのですが、これ実は前もって今朝、局長から私に渡されたのですが、このような私の判断でよろしいのかどうかです。

まず、国民健康保険特別会計は繰出金が２億２，８８４万２，０００円です。そのうちの１億１，６０６万５，０００円、これは一般会計にいったん国庫補助負担金として入って、それはそのままそっくり公会計へ交付しているということ。それで、その下が純然たる一般会計の財源を公会計に投入しているのは１億６７７万７，０００円と解釈してよろしいのでしょうか。これは分かりました。

そうしますと、もう一つの後期高齢者医療特別会計についても同じですね。

それに熊田診療所特別会計、これは２，３３１万４，０００円ほど、今年は繰り入れていますが、これは全て一般会計からの純然たる財源でもって、よそからの、国県からの補助金が全くないと解してよろしいわけですよね。分かりました。

それと、上下水道の関係なのですが、まず、水道事業会計は繰出金が２，５４７万８，０００円であります。それで、これは全額一般会計からの持ち出しと理解してよろしいのですね。これは交付税などには全く加味されていないと理解してよろしいのでしょうか。

それともう一つ、下水道事業会計にしていっても２億６，０００万円ほど交付をしていますが、これも全て一般会計からの投入で、一般会計の財源としては、よそからの交付金とか負担金が加わっていない純然たる市の財源からの支出と理解してよろしいわけですね。

それと介護保険の特別会計については４億２，３４１万２，０００円ほど一般会計から繰り出しているのですが、これは全額、何やかやの負担金を一般会計で入れたものを、そのままそっくり交付しているとみなしてよろしいのでしょうか。

以上です。

○議長（青木敏久）　　川俣市長。

○市長（川俣純子）　　私からまず、お答えさせていただきます。

議会初日に市政運営方針で申し上げたとおりに、令和７年度の当初予算につきましては、第３次総合計画に掲げる重点戦略を着実に進めるとともに、本市の課題解決を図るため、未来につなぐ市民が主役のコンパクトシティへの第一歩の予算としまして、予算編成をさせていただきました。

私にとりましても、２期８年目の節目の年となりますが、これまでを振り返ると、防災集団移転促進事業など、道半ばの取組もございますが、公約に掲げた５つのビジョンを実行する集大成の年として積極果敢に市政運営に努めてまいる所存で予算を編成させていただきました。

次に、併せて２０周年の記念事業に対することを答えさせていただきます。

まず、合併２０周年記念事業につきましては、現在庁内で検討を進めているところであります。詳細が決定していないため当初予算に計上はしておりませんが、多くの市民の皆様や関係者の方々とともにお祝いできるよう、式典やイベント等を予定しております。予算につきましては、補正予算で対応してまいりたいと思っています。今のところ、期日は決まっておりませんが、山あげ、商工会などと、併せて協議をしていくことも出てくるので、ちょっと今の段階ではお答えできないのが申し訳ないなと思っていますが、もう少したつと結果が出てくるのではないかと思いますので、御報告をさせていただきたいと思います。

○議長（青木敏久）　　熊倉副市長。

○副市長（熊倉精介）　　人事関係予算の御質問にお答えしたいと思います。

人事管理費と人材育成推進費につきましては、職員研修や、人事評価などに要する経費でございます。

私がこれまでの公務員生活で得た経験則になりますが、私は、地方公務員にとって大切な取組姿勢とは、住民目線で、責任を持って物事を筋道を立てて考え、積極果敢に取り組むことだと考えており、これらの取組姿勢は中山議員御指摘の業務に誇りと情熱を持って挑戦すると考えを同じくするものでございます。

本市の職員研修や人事評価につきましては、これらの取組姿勢を重視した指導、評価を行っているところではありますが、その大切さを改めて肝に銘じ、着実、確実に指導、評価してまいりたいと思います。

そして、私自身が職員との事務打合せ等のあらゆる機会を通じて、やってみせ、言って聞かせて、させてみてとの先人の言葉のように、様々な手段を駆使して、これらの取組を指導、育成してまいりたいと考えておりますので、議員の皆様の御支援のほどをよろしくお願いしたいと思います。

○議長（青木敏久）　　内藤教育長。

○教育長（内藤雅伸）　　それでは、議員御指摘の学力向上、不登校問題、いじめ問題等の最重要な問題についてということで、特にその点について述べさせていただきます。

教育費の中で特に今回、学力向上とともに、いじめ不登校の問題がかなり顕著になってきている部分でございます。国の教育振興基本計画には、自ら主体的に取り組む力を育む児童・生徒の育成と述べておることは、昨年６月の一般質問の答弁でも述べさせていただいたとおりでございます。

本市では平成２８年からスーパーティーチャー育成事業を実施してまいりました。これにつきましては、ミドルリーダーの育成ということを目標に掲げ、主に学力向上のための授業の改善、資質の向上を目指して職員研修を行ってきたところでございますが、今、求められている

力は学習指導力の向上のみならず、学級経営力、教育相談の能力、保護者との連携等の、教師自身のコミュニケーション力を向上させることが重要となってきているところでございます。

今回新たに学業指導という言葉を使わせていただきましたが、これは栃木県教育委員会で推進しているものでございまして、学びに向かう集団づくりや、子供が意欲的に取り組む授業づくりを通して、学力向上を目指していこうという取組でございます。

言い換えると、学力向上を行う授業の中で、集団活動として望ましい、子供たち同士の主体的な活動を育んでいこうという活動でございまして、まさに、現在本市が求めているところであると考えております。

したがいまして、今回、令和７年度の予算の中に、学業指導向上等推進事業費を盛り込ませていただきました。

なお、この学業指導につきましては、栃木県教育委員会では既に１５年ぐらい推進を図っているところでございまして、現在の中堅及びベテラン教員については、周知しているところが多いのですが、新採用の教員を含めて、５年から１０年ぐらいの経験を持つ若手教員は、なかなかその事業の内容とか、方法について理解していないところでございます。

したがいまして、この学業指導向上等推進事業につきましては、おおむね１０年程度までの教員を対象に、言い換えますと、フレッシュマンのティーチャーを対象にした、授業力及び学級経営力の向上を目指して事業展開していきたいと考えております。

なお本市独自で今まで進めてまいりました英語教育の充実、それから先ほどから話のあります、いじめ不登校に対する校内教育支援センターの運営、そして中学校の部活動や学習サポート事業等も含めて、総合的に事業を推進していきたいと考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

続きまして、境小学校を主にした今後の小中学校の統廃合について御説明いたします。

現在のところ、学校適正規模等検討委員会が行われておりまして、情報によりますと、４月から５月頃に答申されるという話を聞いております。教育委員会としましては、その答申を基に、特に境小学校につきましては複式学級が複数あることから、早急に検討してまいりたいと考えております。

ただ、やはり境小学校の保護者や地域の方々の意見を十分に、丁寧にお聞きしながら方向性を考えていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　水上こども課長。

○こども課長（水上和明）　　それでは、私からこども園完成までの総事業費と財源内訳ということでお答えさせていただきます。

まず、総事業費ですが、今年度末までの総事業費が８億８，３０５万７，０００円になります。

それでそこに令和７年度整備費として複合遊具を予定しておりまして、２，７３９万４，０００円を計上させていただきましたが、それをプラスいたしますと、９億１，０４５万１，０００円となります。

次に、財源内訳でございますが、国県補助金等が１億８，６６４万２，０００円。地方債が６億５，３９０万円。一般財源が６，９９０万９，０００円になってございます。ただし起債額は、予算額に対する計画額で、若干変更になる可能性はございますので、よろしくお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　私から２点、御説明します。

学習用のタブレットにつきましての活用についてです。

端末の利用につきましては、プログラミングの授業、それから児童・生徒による成果発表、ＡＩドリルや、デジタル教科書、学力・学習状況調査の一部ＣＢＴ化などで活用しております。

特にＡＩドリルにつきましては、一人ひとりの理解度、学習進展において最適な問題が提供されますので、学力向上につながっていくと考えております。

また、ＣＢＴにつきましては、受験者の利便性試験の効率性につながりまして、今後さらに普及が進むと考えておりますので、取り組むことが重要かと考えております。また、学習だけではなく、心の健康観察、連絡帳での使用などに利用され、教諭の働き方改革にもつながっているとも考えております。

続きまして、スクールバスの運行費、学校別の乗車人員、運行経路について御説明いたします。

令和７年度は、現在学校で調整中であり、人数が確定しておりませんので、令和６年度で説明させていただきます。江川小学校が１２８名、荒川小学校２３４名、境小学校５１名、烏山小学校３６５名、七合小学校１２７名、南那須中学校２１７名、烏山中学校３２６名です。

小学校がおおむね５６．１％、中学校の３７．５％がスクールバスを利用しているということになっております。

運行経路につきましては、全部で業者バスが１９コース、市有バス１２コース、市有ワゴンバスが４コースで、見直しにつきましては、今年度契約を新たに結びますので見直しておりますが、基本的にはバス停の関係がありますので、大幅な見直しは難しいような状況になっております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫）　　それでは、私から、戸籍振り仮名対応業務の４６９万４，０００円につきまして、内容を御説明したいと思います。

まず、振り仮名の通知の印刷業務につきましてが１０８万４，０００円。それから振り仮名の通知の郵送につきまして、これが仮の郵送なのですが２０４万円。振り仮名の決定の通知の郵送料が８５万円、以上になります。

それから、特別会計の繰出金につきましては、先ほど中山議員がおっしゃったとおりの内訳になりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久）　　岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡　誠）　　では私より２点、お答えいたします。

まず、概要版１４ページ、地域包括支援センター運営費でございます。

地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などの職員が介護、福祉、健康、医療などの様々な相談に応じる、高齢者の方等の身近な相談窓口であり、総合相談だけでなく、高齢者の虐待防止や対応、判断能力を欠く状況にある人の支援、個別のケアマネジメントも行っております。

現在市内には烏山地区、南那須地区と２か所の地域包括支援センターを設置しており、令和７年度予算としまして合わせて３，９５０万５，０００円の業務委託料及び、運営協議会開催通知の郵送料として５，０００円を計上しております。

続きまして、１９ページの特別会計の繰出金でございますが、介護保険特別会計の繰出金につきましては、４億２，３４１万２，０００円、御理解のとおりでございますが、そのうち、低所得者、第１段階から第３段階の方を対象としました保険料の軽減に係ります国、県からの負担金がございまして、国から２分の１、県から４分の１が負担されております。

金額にしますと、国が１，２７２万２，０００円、県が６３６万１，０００円、合わせまして１，９０８万３，０００円を負担金としていただいておりまして、一般会計持ち出しが４億４３２万９，０００円となっております。

○議長（青木敏久）　　小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　　私からは、水道事業特別会計の繰出金２，５４７万８，０００円についてなのですが、こちらの一部、一般会計出資債という起債を借りているのが５００万円になります。そちらの分については、交付税措置が５０％ございます。

下水道事業特別会計については、先ほど中山議員がおっしゃられたとおりでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１４番中山五男議員。

○１４番（中山五男）　　いや、今回は私、質問項目をずっと絞ったわけなのですが、あと４分しか残っていないですよね。分かりました。

一応、一通り御答弁をいただきました。市長には、公約全てを予算計上して達成するというのは極めて難しいのではないか、というのは今の本市の財政事情からしてでありますから、ぜひ次の機会に向けまして、努力されますよう御期待を申し上げます。

副市長、地方公務員法というものがありますよね。そこに、第３０条には服務という規定があります。また、３５条には職務に専念する義務があります。そういったことについては、やはり、ほとんどもう職員の皆さんは忘れているのではないかと思いますよ。どんな義務があるのか何かも、多分そうではないかと、いや実は私も職員時代そうでしたから、多分そうではないかと、大体、地方公務員法に目を通すなんてことはほとんどないのではないかと思いますので、この辺のところはもう１回、新たに徹底していただければありがたいと思っております。とにかく、職員の皆さん、学校を卒業して、能力と知識がありながら、それを発揮する行動力が少々私は不足しているのではないかなというような感じがするのです。

例えば今、答弁をもらった合併２０周年記念の件だって、私は去年の９月に質問をし、答弁をいただいていながら、全然今回の当初予算に一銭も上げていないなどというのは、いかがなものかと私は思っていますので、この辺のところもぜひ、副市長には、職員時代の雰囲気と那須烏山市の職員との雰囲気が全く変わっていますから、この辺は相当苦労されているのではないかと思って、その辺のところは察しているところでありますが、とにかく副市長としてそこに座ったわけなのですから、ぜひ努力していただくよう、御期待を申し上げます。

それと教育長、私は先ほどの不登校、それは大体分かりましたが、境小学校の件です。統合について教育長の考えはどうなのですか。教育長自身のですよ。今、学校統廃合について委員会を設けて、そこで審議しているというのは、それは審議会は審議会、しかし、教育長としてはどのような判断をされているのかということでお伺いしたかったのですが、これは残念であります。もう少しあったのですが、いずれにしてももう少し、あと１分ありますね。

市民課長、戸籍の振り仮名、これは簡単なことなのですが、それとこれはいつから振り仮名をつけることになるのでしょうか。結局、これから生まれる子供に対しては振り仮名をつけると、そういうことですね。いつから具体的につけることになるのですか、これは。とても面倒くさい事業ではないかと思いますが、その辺のところを１点お伺いします。

それと、地域包括支援センターの件なのですが、私が１つ聞きたいことで答弁がないのですが、運営費で３，９００万円ほど交付しています。地域包括支援センターは年間どのぐらいの事業費で運営しているのか。その運営費のうちの一部を市が負担しているのか、この辺のとこ

ろをお伺いしたかったのです。

簡単に答弁をお願いします。

○議長（青木敏久）　　大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫）　　振り仮名につきましては、こちらの現在いる方の通知につきましては来年度いっぱいということでやっておりまして、新しく生まれた方についてもやはり同様になるかと思います。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１４番中山五男議員。

○１４番（中山五男）　　課長、あとで聞きます。

○議長（青木敏久）　　質疑はございませんか。

１５番髙田悦男議員。

○１５番（髙田悦男）　　１５番髙田悦男であります。

２０２５年度、那須烏山市当初予算について質疑を行います。

通告に基づきまして、５ページ、高齢者予防接種事業費です。新規でありまして、大方は同僚議員から質疑がございましたので、多くは申しません。

次に６ページ、中学校管理費、校内教育支援センターの設置数、運営方法、この目的が、登校しても教室に入ることが難しい生徒を支援するとあります。したがいまして、教室に入れない生徒は、どこで教育支援を行うのでしょうか。

次に、７ページ、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費、新規で多目的駐車場補修とあります。雑草対策や駐車場面積は増えるのかどうか。

７ページ、緑地運動公園及び烏山運動公園管理費として、２，４３９万７，０００円が予算化されております。緑地につきましては、約３０年を経過する野球場がございます。バックスクリーンの補修や、バックネット回り、あるいはトイレの修理の考えはいかがか。

８ページ、森林経営管理制度事業費、７２５万２，０００円ございます。意向調査や集積計画作成、間伐等の進捗状況等はどのようになっているか説明を求めます。

１０ページ、防災無線管理費、新規として、烏山庁舎にパラボラアンテナを設置して、Ｊアラート改修の方針で臨むということですが、屋上に設置するのでしょうか。

続いて道路保全費、新規道路照明ＬＥＤ改修数。路線名などが分かれば教えていただきたいと思います。現行の照明については、現状は水銀灯あるいは蛍光灯でございますか。

最後に９ページ、水道事業会計予算。建設工事一覧表がございます。こぶし台団地、福岡地内配水管更新工事等により、耐震配水管の市全体の更新率はどの程度になるのかお尋ねいたします。

以上です。

○議長（青木敏久）　　髙田議員、防災の関係は総務企画常任委員会でお願いいたします。

岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡　誠）　　それでは、概要版５ページ、高齢者予防接種事業費、新規、新型コロナウイルス予防接種対象者に通知するのか、希望者の対応、自己負担額についてお答え申し上げます。

新型コロナウイルス予防接種の個別通知は、６０歳から６４歳の心臓、腎臓等の機能に日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する対象者のみ実施しております。

その他の対象者は、接種時期がインフルエンザ予防接種と同じであることから、インフルエンザ予防接種と併せて自治会回覧及びお知らせ版、医療機関への掲示等で周知を図っております。

接種を希望される方は直接医療機関に予約の上、受診していただくことになります。自己負担額につきましては、３，０００円を予定しております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　校内教育支援センターの設置数についてお答えいたします。

それから運営方法、設置数につきましては、中学校２校を予定しております。運営方法につきましては、学習、生活面の支援としまして、個別の支援計画の作成とか出欠の様子、支援内容の確認とか、生徒が活動内容を自己決定するための支援とか保護者への連絡、そういったところの運営体制を考えております。

また、体制としましては教頭先生、教務主任、生活指導主事とか、あと支援員、そういったところで体制、あと各担任の先生方は連携していくというような、学校で人事は決めていきますので、こちらはあくまでも方針という形で理解いただければと思っております。

また、教室に入れない子たちは、こちらの校内教育支援センターで対応していきたいと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　私から生涯学習課関係２点をお答えしたいと思います。

まず、１つ目ですが、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費、こちらにつきまして暫定的多目的広場の外周の防草シートが設置から約１０年を経過し劣化したために、防草シートの張り替えを行う事業になっております。

広場の面積約６６０平方メートルにつきましては、変わりございません。

もう一つ、緑地運動公園管理費、議員御指摘のとおり施設が大変古くなっております。どの施設も計画的な修繕等が必要でありまして、生涯学習施設個別施設計画の策定の中で検討を進めてまいります。

バックスクリーンの一部破損について確認しておりますが、プレー等に支障がなく、危険な状態ではないと判断しております。

トイレにつきましては、令和２年度に国体開催に向け、外周塗装と洋式化の修繕を実施しているところです。

以上です。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　私からは森林経営管理制度事業費についてお答え申し上げます。

本事業は、森林経営管理法に基づきまして、森林管理が長年行われていない民有林を対象に、意向調査、集積計画を作成して間伐を行う事業となってございます。

これまでに、市としては、意向調査について１４３．７ヘクタールの意向調査を実施してございます。そのうち集積計画が作成されたのが１５．９５ヘクタール。そのうち間伐、事業に実際も取り組んだのが１３．７２ヘクタールという進捗状況になってございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　道路保全費の道路照明のＬＥＤ改修工事に係ります質問でございます。

現在の照明につきまして、ナトリウム灯を設置しておりますので、それをＬＥＤに変えていくということでございます。令和７年度１８０灯を改修しますが、路線的には１２路線ぐらいをピックアップしてやっていきたいと考えております。

よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一）　　私から、水道事業会計予算、建設工事一覧表について御説明いたします。

こぶし台団地、福岡地内配水管更新工事等により、耐震配水管の更新率は市全体でどのようになるかという件についてでございますが、令和７年度実施による更新率については、０．３４％ほどを見込んでおります。それを基幹管路の耐震適合率というものに計算いたしますと、市全体で２８．５％になる見込みでございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　１５番髙田悦男議員。

○１５番（髙田悦男）　　高齢者の予防接種事業費につきましては、１人当たり３，０００円の補助をするということで、希望者はどの程度を予定しているのか、予想できればお答えをお願いします。

続いて中学校管理費ですが、校内教育支援センターについて、教員配置はどのように考えているでしょうか。教頭先生、担任、そのほかどういう方が当たるのでしょうか。居場所がないわけですから、居場所をつくるわけですよね。ですから、どこかの教室を利用しなければならないでしょう。それは、１階にするのか、２階にするのか、その辺の対応についてお答えをお願いいたします。

続いて７ページの長者ヶ平等につきましては、私も時々利用しているのですが、防草シートが破損していまして、路面が砕石と山砂なのですかね、それを敷き詰めただけなのです。ですから、そこの草がかなり生えていると思うのです。私が行ったときは、シルバー人材センターで草刈り業務をやっていました。ですから、舗装にする考えはないのでしょうか。

続いて森林経営管理制度事業費です。農業と同じく、担い手が高齢化になってしまいまして、まさに、山の仕事をする人は皆無に近いほどの状態です。そういう中、残念ながら当市でも、最近２人の方が伐採による事故でお亡くなりになっていますから、できるだけプロの伐採を利用するように、事あるごとにＰＲしてください。

１０ページの防災無線管理費については、失礼しました。担当の常任委員会でございますから、常任委員会の席でやります。

１１番の道路保全費です。現状、ナトリウムの照明をＬＥＤにするということですが、これは１基当たり４０万円ほどというと、現在の照明を根本から抜いて別なところへ設置するという考えでよろしいのでしょうか。

最後の水道事業ですが、全体的に２８．５％ということは、あと最低でも３年、４年はかかるということですね。下水道管も含めて、全国各地で事故が起きていますから、ぜひとも、更新のスピードを上げていってもらいたいと思うのです。

それで、下水道管の、国による調査をしなさいという指示は届いているのですか。

以上です。

○議長（青木敏久）　　岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡　誠）　　高齢者の予防接種でございますが、接種者の見込みとしましては、２，０００人を見込んでございます。

費用についてなのですが、接種費用が１万５，３００円かかります。そのうち本人負担として３，０００円。それ以外の分につきましては、補助としまして１万２，３００円を支給することで設定しております。

○議長（青木敏久）　　齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　校内教育支援センターの運営体制でありますが、先ほどセンター長は校長先生かなという話をしたのですが、こちらの体制は学校で決めてまいりますので、おおむね教頭先生、教務主任、それから生徒指導主事、あと、今回予算化しています支援員、あと担任の先生とか、そういった者が授業の空いている時間とか、そういったときに連携を図るような形になるかと思います。

場所は、南那須中学校は１階の多目的室を予定しております。烏山中学校は１階の相談室を今のところ検討しております。

以上です。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　長者ヶ平につきましては、多目的広場は暫定的な設置ということで置いてありますので、その予定はございません。

以上です。

○議長（青木敏久）　　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　　森林経営管理制度事業につきましては、間伐等まだまだ進捗状況が低い状況でございます。

髙田議員御質問のように森林施業者も、もうかなり高齢化してございます。それと、まずは、森林所有者の間伐事業等に対する意識掲揚を最優先に図ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　道路照明のＬＥＤ改修工事でございますが、支柱ポール自体も老朽化しておりますので、一式交換ということで進めてまいります。

○議長（青木敏久）　　石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一）　　髙田議員からいただきました、下水道管については点検しているのかというところについてでございますが、こちらにつきましては、令和７年１月２８日に埼玉県八潮市において下水道管の破損に起因する陥没事故が発生したことに伴いまして、国交省から、即、腐食等の異常により陥没のおそれがないか点検を行うよう、そういった事務連絡がありました。

すぐさま私どもにおいて目視点検を行いまして、異常がありませんでしたというような回答をさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　１５番髙田悦男議員。

○１５番（髙田悦男）　　おおむね了解としますが、１点だけ、緑地運動公園について少し思うところがありますので、緑地運動公園は、私の１期目の最初の質問で取り上げた問題なのです、もう３５年ほどになります。

それで、以前はにこにこ保育園があった付近に総合グランドがあったのです。それが４年に一度は水害に遭って、どうしても体育祭とか運動会が、そのために、そのたびにできなかったのです。ですから、ぜひ高台へ移転してという話を質問しましたら、ちょうど全酪連牧場の跡地がふさわしいのではないかというような政治状況が、いろいろ紆余曲折があったのですが、その方向に行ったのです。ですから、緑地運動公園ができて旧南那須町は１つになれたのです。しかも、それ以前に、庁舎もこの荒川小学校跡地にしましたから、もう５０年ほどになりますが、そういう長い経験から、長い歴史をぜひ皆さんも思い出してもらって、それで、緑地運動公園に戻りますが、両翼９８メートル、センター１２０メートルというと、ちょうど後楽園球場ぐらいの大きさなのです。

硬式の球場では、結構上位にランクされていると思います。バックスクリーンの破損箇所は、軟球では飛ばない距離なのです。あれは、推定で１３０メートル以上のホームランを打たないと。ですから、ボールは、硬式か準硬式なのです。それで衝撃で割れてしまったのです。準硬式の野球チームに利用してもらっているということが、バックネットの破損、バックネットの網が伸びているのです。それもやはり、準硬式のボールを使っていたせいなのです。

あるときに私は、バックネットに向かって、準硬式のボールでティーバッティングをやっていたのです。これはルール違反だよと注意をしたのです。みんな、チームの指導者も平気でやっていたのです。ですから、そういう借用しているチームには少し申し訳ないのですが、やはりチェックをして、大会があるときは見ていただければいいのかなと思っているのです。

我々もしますけれども、やはり権限というか、職員ではありませんのであまり強いことは言えなかったのですが、でもそのときは、バックネットに向かってティーバッティングしていたのはやめてもらったのです。以上のようなことがあるので、予算ができれば、修理をお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久）　　黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美）　　長い間、愛着を持って大切に施設を御利用いただきありがとうございます。

こちらとしましても、利用者には大切に使うような注意喚起も行ってまいりたいと思いますが、もし御利用のときにお気づきの点がありましたら、ぜひ周りの方にも、今までどおりお声がけいただければ大変助かります。今後ともよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久）　　ここで暫時休憩いたします。

再開を１６時２５分といたします。

休憩　午後　４時１４分

再開　午後　４時２５分

○議長（青木敏久）　　休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで、先ほど行われました総括質疑に関し、執行部より追加答弁がございます。

齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文）　　先ほど中山議員に御説明いたしましたスクールバスの利用人数なのですが、利用人数ではなく生徒人数を報告してしまいまして、大変申し訳ありません。

乗車人数につきましては、江川小学校が１００名。荒川小学校が１６８名、境小学校が２８名、烏山小学校が１２３名、七合小学校が８９名、南那須中学校が９３名、烏山中学校が１５７名です。大変申し訳ありませんでした。

○議長（青木敏久）　　大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫）　　私から、中山議員から再質問のありました、戸籍の振り仮名はいつからだということで御質問がありました。

戸籍の振り仮名記載につきましては、令和７年５月２６日施行となりますので、それ以降に生まれた子供に関しては、振り仮名をつけることになります。

現在戸籍のある方については、その後に通知を出して、そちらで確認していただくような形になります。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　私から先ほど髙田議員から御質問いただきましたＬＥＤ照明のポールの交換につきまして、申し訳ございません、ポールは交換をいたしませんで、灯具ということで、ＬＥＤの上ものだけの交換ということでございますので、申し訳ございません、よろしくお願いします。

○議長（青木敏久）　　課長、あとでお願いいたします。

質疑はございませんか。

１６番平塚英教議員。

○１６番（平塚英教）　　最後の質問者となりました。総括質疑の質問票を３２項目ほど出しておいたのですが、恐らく同僚議員が質問されて、なくなるであろうと思ったのですが、残念

ながら１６項目残っておりますので、再質問させていただきます。概要版でみんないきますので、お願いします。

まず、８ページの雇用対策事業費でございますが、リーフレットをどれだけ作成して、どのように配布をするのか、説明をお願いいたします。

次に、商工総務費なのですが、これは同僚議員が質問してはおりますが、ワーク・ライフ・バランスの推進企業の認定方法及び活用について説明をお願いいたします。ワーク、これは働くですね、ライフ、これは生活ということで、そのバランスをうまくやるようにというようなことを推進する企業かと思うのですが、説明をお願いします。

３つ目、商工団体支援事業費と商工会が実施する総合支援事業。この内容とこれを市が補助するということだと思うのですが、補助内容についても説明をお願いします。

４つ目、中小企業振興対策事業費と事業内容と市の助成内容を伺います。

次に、９ページに移ります。公園等、観光施設運営費と、これについても事業内容について説明をお願いいたします。

次に、定住促進対策事業費とこれも事業内容について説明をお願いします。

次に、民間賃貸住宅家賃補助事業でございますが、家賃助成の内容及び見込み件数について説明をお願いいたします。定住促進、住まいづくり事業費ということでございまして、助成内容及び見込み件数をお願いいたします。

１０ページ、交通安全施設整備費、カーブミラーの維持管理や、設置等の、見込みについて説明をお願いいたします。

次に１０ページ目にいきます。１０ページ、団体営土地改良事業費、事業内容について説明をお願いいたします。

災害対策費、予定事業内容及び自主防災組織の支援見込み数について説明をお願いいたします。

次に、橋梁等維持管理費、事業内容及び予定橋梁の内訳を説明お願いします。

道路整備費、これは、どなたかに答えられたかもしれませんがもう一度整備予定道路の説明をお願いします。

都市計画総務費でございますが、これは何人も質問しておりますが、その中で、立地適正化事業と一体で進めるのだという説明でしたが、以前庁舎を中央公園に造るような話がありまして、そのときには、駅を主体として、烏山信用金庫本店の脇を通って、中央公園から那須南病院のほうに抜けるような計画だと説明を受けたのですが、これが大きく変わっているのではないかなと思うのです。烏山駅を起点に、半径５００メートルでまちづくりを進めるという考え方なのでしょうか。ここへきての立地適正化事業の範囲、その内容の説明をお願いいたします。

その次がエネルギー対策事業費で、助成内容及び件数見込み状況についてお尋ねをいたします。

総合戦略推進事業費と事業内容及び業務委託内容について説明をお願いいたします。

最後に、ふるさと応援寄附金事業費、事業委託内容の説明をお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久）　　星商工観光課長。

○商工観光課長（星　貴浩）　　それでは、私からは最初の５項目、雇用対策事業費、商工総務費、商工団体支援事業費、中小企業振興対策事業費及び公園等観光施設運営費についてお答えさせていただきます。

まず、雇用対策事業費、リーフレットの作成部数と配布の方法でございます。

リーフレット作成物２，０００部を予定してございます。配布ですが、関係機関へ直接訪問、少し遠いところにつきましては郵送等を考えてございます。

その関係機関ですが、配布先の主なものなのですけれども、烏山高校、馬頭高校、高根沢高校に各４００部をお配りさせていただきます。また、市内の中学校にもお配りさせていただき、そのほか県内の大学、近隣の高校にお配りさせていただく予定でございます。

商工総務費のワーク・ライフ・バランス推進企業の認定の方法及び活用についてですが、ワーク・ライフ・バランスの認定企業は、働きやすい企業を紹介するのが主な目的でございます。

そのため、まず、認定を受けたい企業につきましては、申請をしていただき、そこの企業につきまして、４分野、働きやすい環境づくりをしているか。育児介護等と仕事の両立支援ができるか。女性活躍推進がうたわれているか。地域活動支援がしやすい環境かという４分野について審査をさせていただき、全部で３０項目の審査項目があるのですが、そのうち１５項目を達成していれば認定企業として認定させていただいております。

活用なのですけれども、市の広報紙ですとか、ホームページにその企業を紹介させていただく、あるいは市が主催するイベント、令和６年ですと、マラソン大会ですとか駅伝大会ですとかに、企業のパネルを掲出させていただいて紹介させていただきました。

認定企業におきましては、求人する際に市からそういう認定を受けていることをＰＲできるようになっております。

商工団体支援事業費について御説明します。

こちらは商工会が実施する創業支援事業につきましてなのですけれども、その内容はチャレンジショップ那須烏山の運営。それと創業支援塾、マイビジネス支援塾を実施しておりますので、そういったことをやっております。

また、事業者が創業支援等事業計画をつくりまして、それに基づく創業者の支援を商工会で

やっているのですが、そちらに対して、市としましても事業費の２分の１、今回予算で１５０万円を補助金として計上しておりますが、そちらで、その事業に対して支援をしていくというものがございます。

中小企業振興対策事業費、こちらは、中小企業に対しまして、販路の拡大、競争力の強化、あるいは新規創業、地域のにぎわい創出などの分野でやっていただいたときに、そちらを補助するものでございます。補助金としまして、６つのメニューを用意してございます。そちらの６つのメニューで、先ほど申し上げた内容について事業を実施していただき、それについて補助するというものがございます。

それと公園等観光施設運営費についてございます。

こちらは特に、今年度は前年と比べまして事業費が大きくなってございますが、これにつきましては、花立峠憩いの森公園、擬木丸太階段の修繕工事を今年度やりたいと思ってございます。そちらで４５１万円計上させていただきました。

また、午前中の質問にもありましたが、龍門の滝の太鼓橋の解体撤去工事、こちらも入ってございます。そのほかに大きなものが各公園のトイレ清掃及び芝管理の業務となってございます。こちらが主な内容となってございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫）　　まちづくり課関係で４つ御質問いただきましたので、お答えさせていただきます。

９ページ、定住促進対策事業費でございますが、こちらは、地方創生移住支援金と地方就職支援金、結婚新生活支援事業補助金の３つの補助事業が含まれております。まず、地方創生移住支援金につきましては、令和元年度からスタートしましたが２件の実績がございます。交付額は２００万円となっております。年度目標としましては、令和７年度当初予算に３世帯で５６０万円を計上しております。

次に、地方就職支援金事業ですけれども、昨年の９月補正でスタートしました事業でございます。実績はゼロ件となっております。年度目標としましては、令和７年度当初予算に２０件であります。１０万８，０００円を計上しております。

最後の結婚新生活支援事業につきましては、令和６年度からスタートしましたが、こちらの実績はゼロ件となっております。年度目標としましては、令和７年度当初予算に３世帯で１５０万円を計上しております。

次に、同じく９ページ、民間賃貸住宅家賃補助事業費でございます。

こちらの制度は、移住ファミリー家賃助成制度の事業となっております。この制度、令和

３年度からスタートをした事業でして、移住した家族の経済的な負担の軽減及び子育て世帯の生活を応援するため、市民の民間賃貸住宅に転入した若者夫婦世帯、または独り親世帯に対して、予算の範囲内で家賃の一部を補助するものです。

令和３年度は２件、交付額で３０万５，０００円。令和４年度は３件、交付額が１９万８，３００円。令和５年度は３件、金額で２８万４，１００円となっております。

補助制度の活用世帯増を図るため、転入世帯への情報提供、市公式ホームページからなどで制度周知を行っております。

続きまして、１１ページ。エネルギー対策事業費です。こちらにつきましてですけれども、那須烏山市住宅用設備等脱炭素促進事業費補助金についてでございます。

こちらは、再生可能エネルギー及び自立分散型エネルギーの普及を促進し、脱炭素社会の実現や災害に強いまちづくりの推進を図ることを目的としまして実施しているものです。

補助対象設備ですが、４種類ございます。まず１つ目が太陽光発電設備です。発電出力１キロワットにつきまして１万円、上限額が４万円となっております。

２つ目ですが、定置型蓄電池、蓄電容量が１キロワットアワーにつきまして２万円で、上限額が１０万円です。

３つ目がクリーンエネルギー自動車で、補助額は定額の１０万円です。

４つ目が、Ｖ２Ｈ充放電設備で、補助額は定額の１０万円となっております。

補助対象者ですが、市に住民登録のある個人が対象でして、交付は申請者及び同一世帯の者に対しまして、補助対象設備ごと１回となります。

補助要件につきましては、それぞれ項目により要件が異なりますけれども、共通の要件としましては未使用の設備であること。リース設備でないことが挙げられております。

見込み件数ですが、太陽光発電設備は２０件、蓄電池が２０件、クリーンエネルギー自動車５件、Ｖ２Ｈ充放電設備５件を見込んでおります。

続きまして、１２ページ、ふるさと応援寄附金の件でございます。

業務委託の内容を伺うということですけれども、まず、業務委託についての説明となりますが、こちら業者、新朝プレスというところにふるさと応援寄附金業務委託料、トータルで７５４万９，７００円を委託しております。ふるさと納税の基本的な事務処理をまずしていただきまして、こちらが窓口となっていただいて、いろいろな関係、ポータルサイトとかそういったところにつながっていくということになります。

また、いろいろと助言もいただいていまして、今、本市で人気のあるスマホとかパソコン類につきましては、新朝プレスからの提案でありまして、その結果今の伸びがあるということでございます。

そのほか、こういったところで、返礼品の調達費の費用とか配送料、そういったものは新朝プレスのほうでみておいていただいております。

それとさとふる、こちらについても業務委託をしておりまして、４７万５，２００円でさせていただいております。

どちらも業務委託が、寄附金の見込額につきまして、どれくらいのそれに対して委託料になりますので、委託料は、寄附金が上がれば上がるほど委託料が増えることになっております。

以上でございます。

○議長（青木敏久）　　佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹）　　概要書１０ページ、交通安全施設整備費でございます。

カーブミラーの維持管理になりますが、修繕で４基、新たな設置で４基、合計２０９万７，０００円を見込んでございます。

続きまして、次のページの概要書１０ページ、災害対策費でございます。

自主防災組織の支援ということで、防災倉庫、発電機、資機材等の購入を予定しております。１４６万８，０００円ほど見込んでおります。支援団体は１団体ほどの見込みでございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明）　　平塚議員から御質問いただきました予算概要９ページ、移住定住を促す魅力向上戦略に掲げます定住促進住まいづくり事業費、１，４２０万５，０００円についてお答えをいたします。

定住のために住宅を取得した５０歳未満の方に奨励金を交付して、定住促進を図るとともに、子育て世代の経済的負担の軽減を図ることを目的として実施しております。

年間４０件を見込んでおりまして、基本額が１０万円。子育て世帯には１５万円を加算、移住者には２５万円を加算、全てもらえる方につきましては、５０万円を交付するものでございます。

次に、予算概要１１ページ、暮らしやすい都市再生戦略の橋梁等維持管理費６，１００万円についてお答えをいたします。

道路法施工規則に基づき、５年を１つのサイクルとして実施しております橋梁等の定期点検を実施する経費と、橋梁等の補修工事を実施する経費でございます。

点検につきましては、令和７年度から３巡目に入ってまいります。１４５の橋と２つのトンネルを令和７年度から１０年度までの４年で点検を実施して、令和１１年度に道路施設長寿命化修繕計画の見直しにつなげてまいります。その経費としまして、１，８００万円。橋梁の補修工事は、点検の結果判定がⅢとなりました清水川せせらぎ公園Ｂゾーンに近接しております

新橋の補修工事を実施する経費で４，３００万円計上いたしました。

次に、同じく予算概要１１ページ、道路整備費、２億７，３２７万３，０００円についてお答えをいたします。

７路線ございまして、１つが七合小学校の通学路であります谷浅見平野線。２か所目が、４月オープンとなります、なすからこども園のアクセス道であります大金東原線。３つ目が富士見台工業団地線。４つ目が那須烏山消防署東側の関下精神場線。５つ目が那珂川町へ連絡する八溝グリーンラインの白久地内でございますが、大桶白久線。６つ目が下境地内におけます浄土入山線。７か所目が宮原地内の県道常陸太田那須烏山線に接続します宮原森下線の７路線でございます。

続きまして、都市計画総務費、平塚議員から前に、駅から中央公園のほうに抜ける道路の計画があったのではないかというお話もございましたが、道路につきましては、現在、烏山土木事務所と道路網研究会というのも開催しておりまして、将来の道路についてただいま研究しておりまして、その中でも都市計画道路についてどうしたらいいか、回遊性を進めるにはどうしたらいいかということで検討しておりますので、そういうことも含めまして、今回、都市計画総務費ということで検討を行ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（青木敏久）　暫時休憩いたします。

休憩　午後　４時４８分

再開　午後　４時４９分

○議長（青木敏久）　再開いたします。

小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸）　概要書１２ページ、総合戦略推進事業費についてお答えします。

こちらにつきましては、総合政策審議会に係る経費３８万円と、企業版ふるさと納税に関する経費２０９万円、合計２４７万円の事業費となっております。

企業版ふるさと納税の業務委託につきましては、寄附獲得に向けて市の事業のＰＲや、寄附獲得まで進むように、市と企業のマッチング支援の業務委託を考えております。

以上でございます。

○１６番（平塚英教）　概要版１０ページ、団体営農土地改良事業費は、先ほど説明があったのでしたか。

○議長（青木敏久）　深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志）　大変失礼しました。

概要版１０ページの、団体営土地改良事業費の説明をいたしたいと思います。

こちらにつきましては、土地改良に関します修繕等の事業費になってございます。

令和７年度におきましては、まず、森田地区の猿久保溜の決壊防止、また、水害リスクのための停水管理業務委託として１８万円。また、市内防災ため池の実施工事に関わる実施設計書の発注ということで、５か所。また、廃止工事の実施設計の業務委託１か所、合計で２，５１９万円。さらには、掘抜用水の取水工改修に向けた工事の実施で２４０万円。荒川南部土地改良区の１号揚水機のポンプ交換で１７７万７，６００円を計上しまして、合計で３，１７４万８，０００円の事業の内訳となってございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１６番平塚英教議員。

○１６番（平塚英教）　　大体、短い時間できちんと答弁いただきまして、ありがとうございました。

２点目の質問でございますが、商工総務費の支援事業で認定されたのは幾つかを知りたいのですが、ワーク・ライフ・バランスの認定をされた事業所は幾つありますかということです。

○議長（青木敏久）　　星商工観光課長。

○商工観光課長（星　貴浩）　　ワーク・ライフ・バランスの認定企業数ですが、今年度までで９事業所ございます。

以上です。

○議長（青木敏久）　　１６番平塚英教議員。

○１６番（平塚英教）　　結構です。

○議長（青木敏久）　　ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久）　　質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久）　　異議なしと認めます。

よってこれで質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま上程中の議案第１号から議案第８号までの令和７年度当初予算については、所管の常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久）　　異議なしと認めます。

よって、議案第１号から議案第８号までの令和７年度那須烏山市一般会計予算、令和７年度

那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和７年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和７年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和７年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和７年度那須烏山市境財産区特別会計予算、令和７年度那須烏山市水道事業会計予算、令和７年度那須烏山市下水道事業会計予算、令和７年度当初予算８議案については、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――

○議長（青木敏久）　　以上で本日の日程は全部終了いたしました。

次の本会議は３月１４日金曜日、午前１０時に開きます。本日はこれで散会いたします。お疲れさまでございました。

［午後　４時５４分散会］